

岩手県総務部公共施設等個別施設計画

令和3年3月

岩手県総務部

岩手県総務部公共施設等個別施設計画

目 次

1	はじめに.....	1
	（１）目的.....	1
	（２）対象施設.....	1
	（３）計画期間.....	2
2	基本的な取組方針.....	2
	（１）基本的な取組事項.....	2
	（２）重点的な取組事項.....	2
3	対象施設の長寿命化対策やその他利活用に向けた優先順位の考え方...	3
	（１）優先度順位（１次評価）.....	3
	（２）優先度順位（２次評価）.....	4
4	所管施設の現状把握（施設の状況及び評価）.....	5
5	施設保有の最適化に向けた取組.....	14
	（１）社会経済情勢等の変化への対応.....	14
	（２）公共施設の有効活用.....	14
	（３）対象施設の方向性.....	15
6	施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組.....	15
7	施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組.....	15
	（１）長寿命化対策の概要.....	15
	（２）施設の目標使用年数.....	15
8	長寿命化対策の内容と実施時期.....	16
	（１）計画期間中における対策の方向性.....	16
	（２）計画期間中における対策の内容と実施時期.....	16
	（３）実施期間中の概算経費.....	17

1 はじめに

(1) 個別施設計画の必要性・目的

総務部では、これまで社会情勢や県民ニーズに対応するため、多くの公共施設等を建設してきたところですが、現在、これら公共施設等の老朽化が進んでおり、今後、大量に大規模修繕・更新の時期を迎え、多額の経費が必要となることが見込まれています。

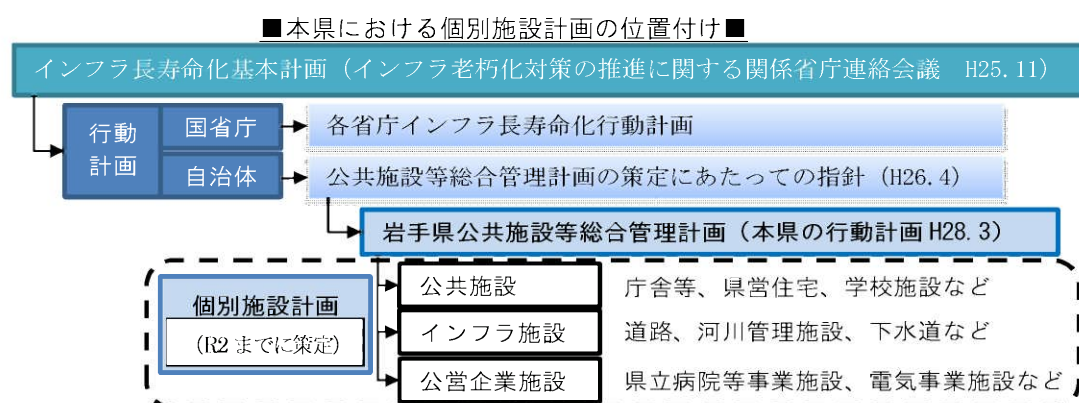
人口減少や少子高齢化など社会情勢や県民ニーズの変化、これに伴う税収の減少、社会保障費関係費等の増加などにより、厳しい財政状況が見込まれています。

こうした状況を踏まえ、公共施設等の全体状況を把握し、計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減、標準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設マネジメントを策定するため、県では平成28年3月に「岩手県公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。

岩手県総務部公共施設個別施設計画は、総合管理計画に基づく、長期的な視点に立った公共施設等マネジメントの取組を推進するための具体的な計画として総務部の施設について策定するものです。

この計画では、施設の建物性能及び利用状況等の定量的な情報による一次評価を経て、サービスの重要性などの定性的な情報による二次評価の結果に基づき個別施設の保有の見直しや長寿命化工事の実施時期を定めるものです。

なお、これらの評価結果をもって直ちに当該施設の取扱いを定めるものではなく、施設をめぐる社会情勢及び本県の財政状況を踏まえ、総合管理計画の趣旨を踏まえて実行していくものです。



(2) 対象施設

総務部が所管する以下に掲げる延床面積 100 m²以上の公共施設等(県庁舎、地区合同庁舎、職員公舎、防災航空センター、消防学校、総合防災センター、エスポワールいわて)を対象とします。

庁舎等 79 施設 156 棟
建築面積 67,191.16 m² 延床面積 208,863.39 m²
詳細は各施設個票のとおり。

(3) 計画期間

計画期間は令和2年度から令和32年度までとし、施設ごとの具体的な対策は、令和2年度～令和6年度の5年間とします。

また、計画の進捗状況を勘案し概ね5年を目安に計画を更新することとします。これにかかわらず見直しが必要な場合は適宜更新を行うこととします。

2 基本的な取組方針

(1) 基本的な取組事項

建築基準法など法令に基づく定期点検の実施等により、施設利用者等の安全・安心の確保に努めます。

今後は、老朽化に伴う維持管理や修繕、更新等に要する経費の増大が懸念されることから、引き続き総合管理計画の方針に基づく定期的な点検に取り組むとともに、計画的な維持管理・長寿命化を推進します。

このほか、施設利用状況や需要の変化等を見据えた施設総量の適正化を図ります。

(2) 重点的な取組事項

① 施設保有の最適化に向けた取組

社会情勢の変化に対応し、施設の機能の統合や廃止について検討するなど、情勢の変化に合わせた施設保有の最適化に向けて取り組みます。

また、施設保有の最適化の検討に当たっては、計画的な公共施設マネジメントに取り組む市町村や類似サービスを提供する民間事業者との役割分担や連携についても検討します。

② 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、計画的に長寿命化を実施します。

計画的な維持管理と長寿命化の推進により、公共施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組めます。

③ 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化への取組

施設の改修や更新に当たっては、再生可能エネルギー導入の検討や環境に配慮した材料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制、照明器具のLED化など環境負荷の低減に取り組むとともに、すべての人が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した施設の改修・更新に取り組めます。

④ 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

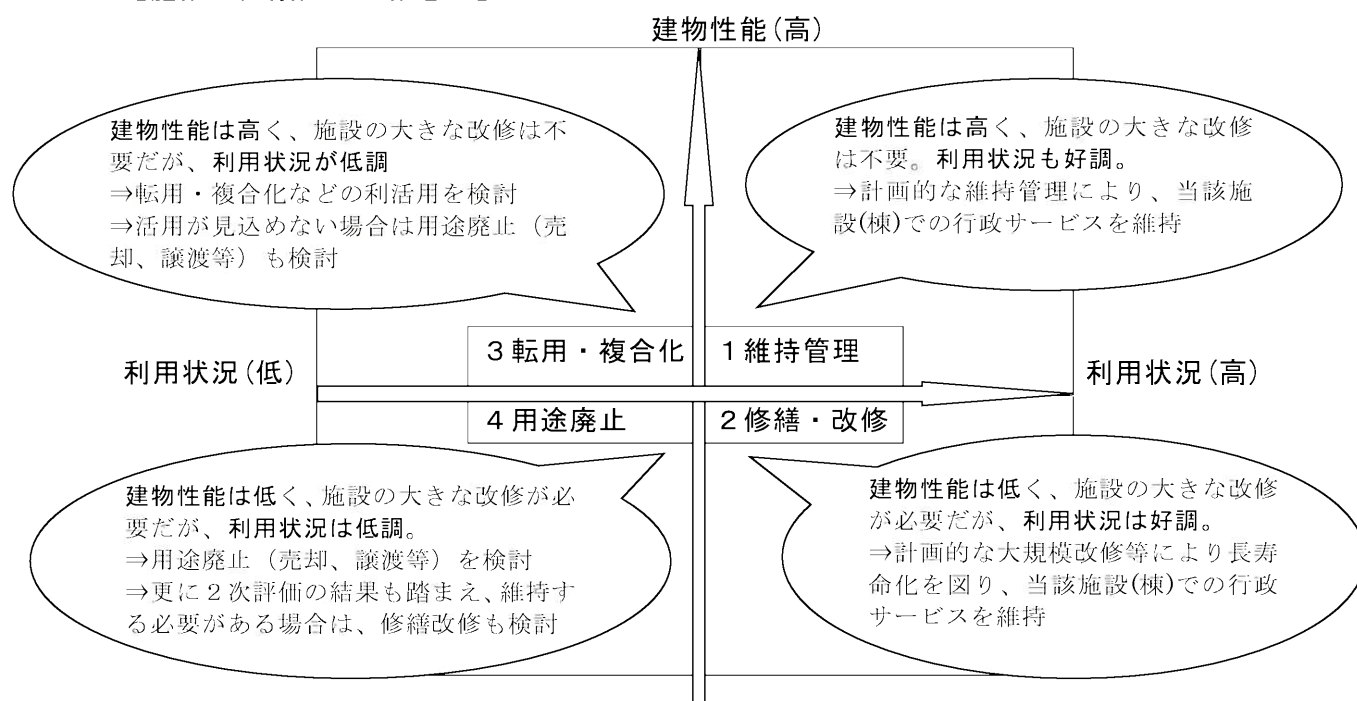
計画的な耐震化の推進や定期・日常的な点検・診断結果を受けた適時適切な修繕により、公共施設に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心の確保に取り組みます。

3 対象施設の長寿命化対策やその他利活用に向けた優先順位の考え方

(1) 優先度評価（1次評価）

施設の利用状況や必要性を勘案しながら、建物性能と利用状況の2軸評価により、長寿命化等の対策を行う施設と転用・複合化、用途廃止など新たな利活用に向けて検討する施設とに分類します。

【施設の分類分けの概念図】



○ 建物性能の評価

建物性能の評価については、岩手県公共施設点検マニュアルに定める「（様式）日常点検チェックシート」による「簡易劣化度診断の結果」と「建築年代（経過年数）」を組み合わせ、その高低を評価します。

<日常点検チェックシートによる「簡易劣化度診断結果」の分類>

建物性能	簡易劣化度診断の結果	
高	A判定	概ね良好
中	B判定	経過観察（当面对応不要）
低	C判定	要調査（専門業者による調査が必要）

＜建築年代（経過年数）による分類＞

建物性能	区分	考え方
高（新） ※耐震改修済み建物含	A類 1981（S56）年～	建築基準法の新耐震基準（昭和56年6月施行） 新基準施行後に建築確認を受けた施設（棟）及び耐震改修済の施設（棟）については、長期的な使用に耐えうるものとして「建物性能が高い」と評価。
中	B類 1966（S41）年～ （築50年経過）	減価償却資産の耐用年数（経済的な価値による耐用年数） 建物の経済的価値に着目し、RC造事務所用途の法定耐用年数50年を基本に、超過しているものは全般的に老朽化・設備面においても陳腐化しているものとして「建物性能の高低」を評価。
低（旧）	C類 1965年（S40）年以前 （築51年以上経過）	

＜建物性能総合評価（簡易劣化度診断結果と建築年代のマトリクス評価）＞

		新 旧 建築年代（経過年数）		
		A類	B類	C類
劣化度 低 高	A判定	建物性能 高	建物性能 高 —	建物性能 中
	B判定	建物性能 高 —	建物性能 中	建物性能 低+
	C判定	建物性能 中	建物性能 低 +	建物性能 低

（2）優先度評価（2次評価）

建物性能と施設サービスの重要性・今後の見通しによる評価を組み合わせ、対象経費の平準化を図るための優先順位づけの指標とします。

＜建物性能と施設サービスの重要性・今後の見通しを組み合わせた優先順位づけ＞

		施設サービスの重要性・今後の見通し（4段階評価）			
		(高)	←		(低)
建物性能	(低)	優先度 1	優先度 2	優先度 3	優先度 4
	(中)	優先度 2	優先度 3	優先度 4	優先度 5
	(高)	優先度 3	優先度 4	優先度 5	優先度 6

4 対象施設の現状把握

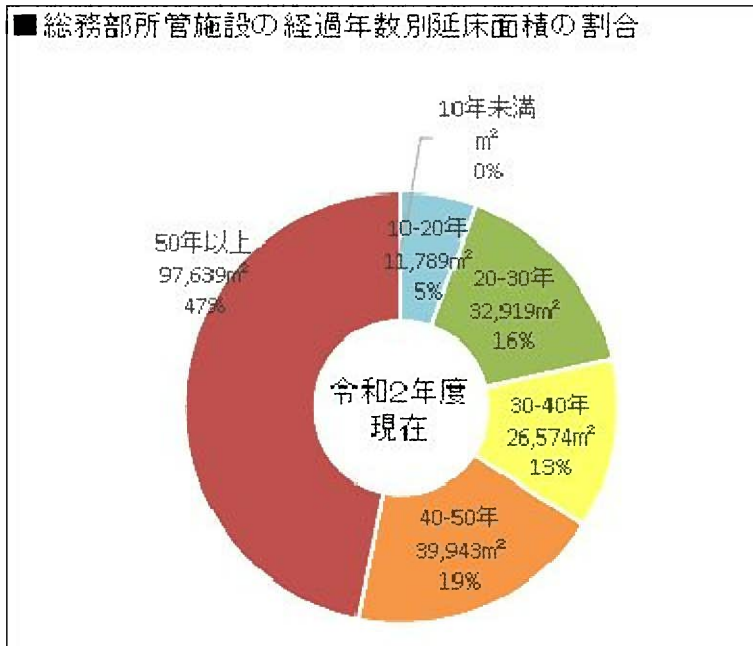
＜所管施設の概況及び老朽化等の状況＞

1（2）記載の対象施設について、岩手県公共施設個別施設計画策定指針（平成29年3月。以下「指針」という。）に基づき、対象施設の建物、電気・機械設備等の概要や定期点検の実施状況等及び、施設の利用者数や施設特性等の施設利用情報等について確認し検討を行います。

また、所管施設における老朽化等の状況は、劣化度調査等の実施状況や定期点検の実施、修繕工事の実施履歴等により確認し検討を行います。

庁舎等 79 施設 156 棟

建築面積 67,191.16 m² 延床面積 208,863.39 m²

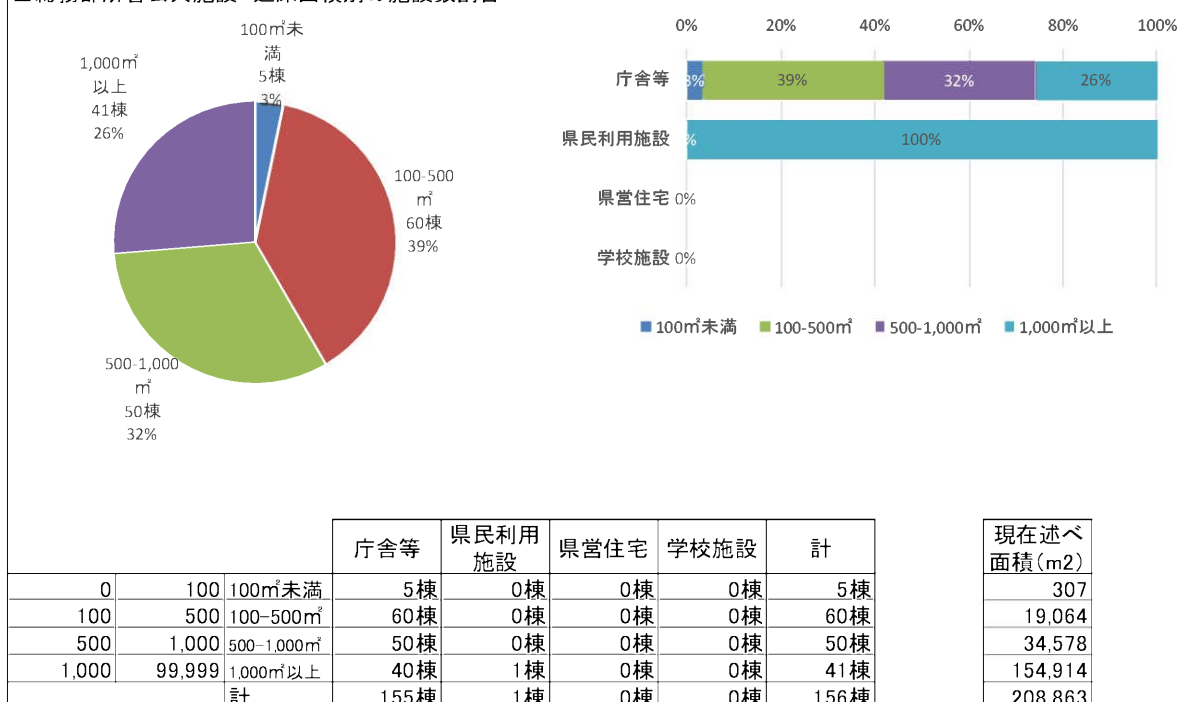


■ 総務部保有の公共施設

施設類型(用途)		施設数 (棟数)	延床面積	
			1棟あたり	
庁舎等	県庁舎、警察署、試験研究機関等	155棟	202,307m ²	1,305m ²
県民利用施設	体育館、博物館、ホール等	1棟	6,556m ²	6,556m ²
県営住宅	住宅、集会所等	0棟	m ²	
学校施設	校舎、実習棟等	0棟	m ²	
合計		156棟	208,863m ²	1,339m ²

延床面積100m²未満の施設除く。(100m²未満の職員公舎は計上)

■ 総務部所管公共施設 延床面積別の施設数割合



① 庁舎 15 施設 47 棟（令和 2 年 4 月 1 日現在） 129,169.26 m²

No.	施設名	経過年数 /耐用年数	職員数	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1 次評価)	優先度評価 (2 次評価)	今後の 方向性
1	1 岩手県庁舎 (知事局棟)	55/50	2,044	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 1
	議会棟含む			A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 1
	2 盛岡地区合同車庫	57/25	—	A	2 修繕改修	III	修繕・改修 優先度 4
	3 盛岡地区合同車庫	51/25	—	A	2 修繕改修	III	修繕・改修 優先度 4
	4 盛岡地区合同車庫	57/25	—	A	2 修繕改修	III	修繕・改修 優先度 4
2	5 盛岡地区合同庁舎 本館	51/50	676	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	6 盛岡地区合同庁舎 別館	51/50		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
3	7 花巻地区合同庁舎	56/50	202	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	8 花巻地区合同庁舎 附属棟	18/24	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
4	9 北上地区合同庁舎	54/50	86	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	10 北上地区合同庁舎 倉庫	54/34	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	11 北上地区合同庁舎 車庫	41/38	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	12 北上地区合同庁舎 附属棟	20/38	—	A	1 維持管理	I	修繕・改修 優先度 3
	13 北上地区合同庁舎 犬舎棟	20/15	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
5	14 奥州地区合同庁舎	53/50	180	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	15 奥州地区合同庁舎 分庁舎	40/50	66	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	16 奥州地区合同庁舎 車庫	40/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	17 奥州地区合同庁舎 附属棟	53/38	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
6	18 奥州地区合同庁舎 江刺分庁舎	56/50	62	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	19 奥州地区合同庁舎 江刺分庁舎農林実験室棟	40/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	20 奥州地区合同庁舎 江刺分庁舎 車庫	56/25	—	B	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 1

No.		施設名	経過年数 /耐用年数	職員数	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
7	21	一関地区合同庁舎	39/50	201	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	22	一関地区合同庁舎 車庫	39/31		A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
	23	一関地区合同庁舎 附属棟	18/24	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
8	24	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎	56/50	88	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	25	千厩地区合同庁舎 増築棟	32/50		A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 3
	26	千厩地区合同庁舎 車庫	32/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 3
9	27	大船渡地区合同庁舎	46/50	274	A	1 維持管理	I	修繕改修 優先度 3
	28	大船渡地区合同庁舎 ボイラー室	46/38	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
	29	大船渡地区合同庁舎 車庫 A	46/31	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
	30	大船渡地区合同庁舎 車庫 B	46/31	—	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
	31	大船渡地区合同庁舎 実験室	46/38	—	A	1 維持管理	I	修繕改修 優先度 3
10	32	遠野地区合同庁舎 旧館	53/50	76	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
		遠野地区合同庁舎 新館			A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	33	遠野地区合同庁舎 倉庫	41/38	—	A	1 維持管理	III	維持管理 優先度 4
11	34	釜石地区合同庁舎 旧館	42/50	263	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	35	釜石地区合同庁舎 新館	25/50		A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	36	釜石地区合同庁舎 車庫	42/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	37	釜石地区合同庁舎 倉庫・車庫	42/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
12	38	宮古地区合同庁舎	41/50	288	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	39	宮古地区合同庁舎 倉庫	41/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	40	宮古地区合同庁舎 車庫	41/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2
	41	宮古地区合同庁舎 機械室	41/31	—	A	2 修繕改修	I	修繕改修 優先度 2

No.	施設名	経過年数 /耐用年数	職員数	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
13	42 岩泉地区合同庁舎	52/50	96	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
	43 岩泉地区合同庁舎 車庫	52/25	—	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 2
14	44 久慈地区合同庁舎	21/50	257	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3
	45 久慈地区合同庁舎 立体駐車場	21/19	—	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 3
	46 久慈地区合同庁舎 倉庫	22/38	—	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 3
15	47 二戸地区合同庁舎	17/50	252	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3

② 職員公舎 60 公舎 97 棟（令和 2 年 4 月 1 日現在） 65,755.97 m²

No.	所在地	施設名	経過年数 /耐用年数	入居率 % (実質)	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
1	1 盛岡	知事公館	49/50	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	2 盛岡	雑務手公舎 兼倉庫	49/38	—	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
2	3 盛岡	西青山合同公舎 1 号棟	57/47	66.7	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	4 盛岡	西青山合同公舎 2 号棟	57/47	55.6	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	5 盛岡	西青山合同公舎 3 号棟	55/47	55.6	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	6 盛岡	西青山合同公舎 4 号棟	54/47	88.9	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	7 盛岡	西青山合同公舎 5 号棟	54/47	66.7	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
3	8 盛岡	東中野合同公舎 1 号棟	53/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	9 盛岡	東中野合同公舎 2 号棟	53/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	10 盛岡	東中野合同公舎 3 号棟	52/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	11 盛岡	東中野合同公舎 4 号棟	52/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
4	12 盛岡	飯岡合同公舎 1 号棟	51/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	13 盛岡	飯岡合同公舎 3 号棟	49/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6

No.		所在地	施設名	経過年数 /耐用年数	入居率 % (実質)	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
4	14	盛岡	飯岡合同公舎 5号棟	49/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
5	15	盛岡	東中野寮 1－3号棟	46/47	2.0	A	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
	16	盛岡	東中野寮 4号棟	39/47	6.7	A	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
6	17	盛岡	山岸公舎 1. 2号	46/47	87.5	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	18	盛岡	山岸公舎 3. 4号	46/47		B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	19	盛岡	山岸公舎 5. 6号	46/47		B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	20	盛岡	山岸公舎 7. 8号	46/47		B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
7	21	盛岡	高松合同公舎 1号棟(1～5号)	41/47	0.0	B	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
	22	盛岡	高松合同公舎 2号棟(6～17号)	41/47	0.0	B	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
8	23	盛岡	加賀野合同公舎 1号棟	38/47	87.5	B	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	24	盛岡	加賀野合同公舎 2号棟	38/47	83.3	B	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
9	25	盛岡	東仙北合同公舎 1号棟	35/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	26	盛岡	東仙北合同公舎 2号棟	25/47	94.4	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
10	27	盛岡	河南 1 号公舎	29/22	0.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	28	盛岡	河南 2 号公舎	29/22	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
11	29	盛岡	下米内合同公舎	22/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
12	30	盛岡	上ノ橋合同公舎 世帯用公舎	31/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	31	盛岡	上ノ橋合同公舎 単身用公舎	31/47	75.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
13	32	奥州	川原小路 合同公舎	49/47	87.5	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
14	33	奥州	栗林合同公舎 1号棟	34/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	34	奥州	栗林合同公舎 2号棟	34/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
15	35	江刺	八日町合同公舎 2号棟	41/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6

No.		所在地	施設名	経過年数 /耐用年数	入居率 % (実質)	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
16	36	花巻	南城合同公舎	46/47	100.0	A	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	37	花巻	南城合同公舎 2号棟	30/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
17	38	花巻	大通合同公舎	40/47	0.0	B	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
18	39	北上	鍛冶町合同公舎	49/47	100.0	A	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
19	40	北上	花園町合同公舎	39/47	100.0	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
20	41	遠野	東館合同公舎 1号棟	54/47	0.0	B	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
21	42	遠野	東館合同公舎 2号棟	54/47	0.0	A	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
22	43	遠野	六日町職員公舎	29/47	44.1	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
20	44	遠野	六日町合同公舎	42/47	0.0	A	4 用途廃止	IV	用途廃止 優先度 4
23	45	一関	関が丘合同宿舎	49/47	100.0	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
24	46	一関	高梨合同公舎 1号棟	35/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 5
	47	一関	高梨合同公舎 2号棟	35/47	87.5	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
25	48	一関	中里合同公舎 A棟	19/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	49	一関	中里合同公舎 B棟	19/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	50	一関	中里合同公舎 C棟	19/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
26	51	千厩	久保田職員公舎 単独身棟	27/47	72.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
27	52	千厩	久保田職員公舎 世帯棟	27/47	33.3	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
28	53	千厩	摩王合同宿舎 (管理人室含む)	49/47	50.0	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
29	54	千厩	摩王合同公舎	49/47	50.0	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
30	55	大船渡	柿ノ木沢合同公舎	56/47	66.7	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
31	56	大船渡	中野合同公舎	51/47	100.0	B	2 修繕改修	IV	維持管理 優先度 5
32	57	大船渡	中野合同宿舎 1号棟	51/47	76.5	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5

No.		所在地	施設名	経過年数 /耐用年数	入居率 % (実質)	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
32	58	大船渡	中野合同宿舎 2号棟	43/47	76.5	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
33	59	大船渡	中井沢合同公舎 1号棟	38/47	100.0	B	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
	60	大船渡	中井沢合同公舎 2号棟	38/47		A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
34	61	大船渡	堰口合同宿舎	38/47	84.6	B	1 維持管理	IV	修繕・改修 優先度 6
35	62	大船渡	猪川単身用公舎	30/47	100.0	A	1 維持管理	IV	修繕・改修 優先度 5
36	63	釜石	松原公舎 10号 (1-1)	66/22	100.0	C	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	64	釜石	松原公舎 11号 (1-2)	66/22		C	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	65	釜石	松原公舎 5.6号 (2-3、2-4)	66/22		C	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
37	66	釜石	大平合同公舎 1号棟	57/47	83.3	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
	67	釜石	大平合同公舎 2号棟	57/47	83.3	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 4
38	68	釜石	大畑合同宿舎 1号棟	49/47	72.7	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	69	釜石	大畑合同宿舎 2号棟	40/47	62.5	B	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
39	70	釜石	野田合同公舎	51/47	100.0	A	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
40	71	釜石	中妻合同公舎	40/47	87.5	A	2 修繕改修	IV	維持管理 優先度 5
41	72	釜石	小佐野職員公舎	28/47	92.5	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
42	73	宮古	千徳合同公舎 1号棟	57/47	100.0	A	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	74	宮古	千徳合同公舎 3号棟	55/38	100.0	A	2 修繕改修	IV	修繕・改修 優先度 5
	75	宮古	千徳合同公舎 4号棟	54/38	100.0	A	1 維持管理	IV	修繕・改修 優先度 6
	76	宮古	千徳合同公舎 2号棟	12/47	100.0	A	2 修繕改修	IV	維持管理 優先度 6
43	77	宮古	緑ヶ丘合同公舎	47/47	100.0	A	1 維持管理	IV	修繕・改修 優先度 6
44	78	宮古	西ヶ丘合同公舎	36/47	100.0	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6
45	79	宮古	西ヶ丘合同宿舎	34/47	84.2	A	1 維持管理	IV	維持管理 優先度 6

No.	所在地	施設名	経過年数 /耐用年数	入居率 % (実質)	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	今後の 方向性
46	80	宮古 五月町職員公舎	29/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
47	81	岩泉 土橋合同公舎	52/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅲ	修繕・改修 優先度 5
48	82	岩泉 土橋合同宿舎	42/47	90.5	A	1 維持管理	Ⅲ	修繕・改修 優先度 5
49	83	岩泉 片畑合同公舎 3号棟	39/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅲ	修繕・改修 優先度 5
50	84	岩泉 中野職員公舎 単身用公舎	25/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅲ	維持管理 優先度 5
51	85	久慈 天神堂 単身用公舎	31/47	100.0	B	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
52	86	久慈 久慈地区天神堂 合同公舎	32/47	88.9	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
53	87	久慈 小久慈合同宿舎 1号棟	50/47	88.9	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
	88	久慈 小久慈合同宿舎 2号棟	44/47	88.9	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
55	89	久慈 小久慈合同公舎 1号棟	56/47	100.0	A	2 修繕改修	Ⅳ	修繕・改修 優先度 5
	90	久慈 小久慈合同公舎 2号棟	53/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅳ	修繕・改修 優先度 6
	91	久慈 小久慈合同公舎 3号棟	52/47	75.0	A	1 維持管理	Ⅳ	修繕・改修 優先度 6
56	92	久慈 寺里職員公舎 1号棟	24/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
	93	久慈 寺里職員公舎 2号棟	24/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
57	94	二戸 中曽根合同公舎	52/47	100.0	A	2 修繕改修	Ⅳ	修繕・改修 優先度 6
58	95	二戸 中曽根職員公舎 単独身棟	27/47	88.6	B	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
59	96	二戸 中曽根職員公舎 世帯棟	27/47	80.0	A	1 維持管理	Ⅳ	維持管理 優先度 6
60	97	東京 東京地区南青山 合同公舎	33/47	100.0	A	1 維持管理	Ⅲ	維持管理 優先度 5

※入居率（実質）…管理戸数から入居制限されている戸数を差し引いた入居率

③ その他 4施設 12棟（令和2年4月1日現在） 13,938.16㎡

No.	施設名	経過年数 /耐用年数	職員数等	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	総合判定
1	1 岩手県 防災航空センター	23/38	20	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3

No.		施設名	経過年数 /耐用年数	職員数等	簡易劣化度 診断結果	優先度評価 (1次評価)	優先度評価 (2次評価)	総合判定
2	2	総合防災センター	34/50	R1 来館者 8,825人	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	3	総合防災センター 備蓄倉庫	34/31		A	1 維持管理	II	維持管理 優先度 4
3	4	消防学校 校舎本館	46/50	職員 11人 R1 受講者 508人	A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	5	消防学校 体育館（屋内訓練所）	45/34		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	6	消防学校 寄宿舍	46/47		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	7	消防学校 車庫	46/31		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	8	消防学校 教材車輛格納庫	40/31		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	9	消防学校 救急訓練棟 （接続廊下含）	27/50		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	10	消防学校 主訓練塔	22/38		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
	11	消防学校 補助訓練塔	23/38		A	2 修繕改修	I	修繕・改修 優先度 3
4	12	エスポワールいわて	26/47	職員 15人 R1 利用者 9.5万人	A	1 維持管理	I	維持管理 優先度 3

5 施設保有の最適化に向けた取組

（１）社会経済情勢等の変化への対応

社会情勢等の変化に対応し県施策を遂行していく上で重要な施設であり、当面、現有施設のうち必要な施設は、行政機能が発揮できるよう施設を維持していきます。

（２）公共施設の有効活用

県庁舎や地区合同庁舎の余剰スペースについては、県の行政サービスとの関係性や必要性を勘案した上で貸し付けするほか、ポスター等広告事業や自動販売機設置などによる収入確保に向けた取組を実施していきます。

エスポワールいわてについては、災害時における災害対策本部等を設置する代替施設や避難指示（緊急）又は避難勧告が発令された地域における被災者の受入施設としての支援も行っていくこととしています。

（３）対象施設の方向性

ア 庁舎（県庁舎、各地区合同庁舎（附属建物含む。）

庁舎については、県の施策を遂行する上で重要な施設であるとともに、災害時における防災拠点として重要な役割を持つ施設であることから、耐震性能を確保し、長寿命化を図りながら、その機能を維持していきます。

イ 職員公舎（附属建物含む。）

職員公舎については、業務上の必要性や民間住宅の確保が困難といった地域に設置している箇所もあることから、必要な公舎を維持するとともに住環境の改善に向けた改修を進めていきます。

一方で老朽などにより利用が見込まれない（低い）公舎については、「県有未利用資産等活用・処分方針」に基づく売却その他の有効活用を進めていきます。

ウ その他

（ア）防災航空センター

地上での救助、救急、空中消火等消防活動が困難な状況下で航空消防活動を行う拠点として代替できない施設であり、施設サービスの重要性は高く、必要な修繕・改修を行い施設の長寿命化を図りながら維持管理していきます。

（イ）総合防災センター（附属建物含む。）

県民への防災知識・技術の普及及び防災意識を高める施設であり、施設サービスの重要性は高く、必要な修繕・改修を行い施設の長寿命化を図りながら維持管理していきます。

（ウ）消防学校（附属建物含む。）

消防組織法に基づく消防職員及び消防団員の教育訓練を行う教育訓練施設であり重要性は高く、必要な修繕・改修を行い施設の長寿命化を図りながら維持管理していきます。

（エ）エスポワールいわて

地方公務員法に基づく職員の福利厚生施設として位置づけられ、職員の福祉充実や健康増進等に必要な施設であること、また、災害時における災害対策本部等を設置する代替施設に位置づけられていることから、施設の重要性は高く、必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していきます。

6 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

(1) 長寿命化対策の概要

対象施設の老朽化の状況や利用状況、長寿命化対策によるコスト縮減効果などを総合的に勘案し、施設特性や老朽化の状況に応じた適切な時期での対策を講じるよう努めます。

具体には、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸します。

これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図ります。

① 修繕（更新）

部位・部材の耐用年数を考慮して定期的を実施するとともに、発注にあたっては、仮設コストの縮減や工期の短縮等のため、工事の一括発注についても考慮します。

【目標修繕（更新）周期】

竣工後20年	竣工後40年	竣工後60年
屋上防水・外壁塗装 空調熱源 ポンプ類	躯体以外の建築全般 電気設備（機材のみ） 機械設備全般	屋上防水 電気設備（機材のみ） 機械設備全般

② 大規模修繕（リノベーション）

社会経済情勢の変化等により高度化する要求性能に対応させる必要がある場合は、適切な時期を設定し効率的な実施に努めます。

(2) 施設の目標使用年数

県庁舎や地区合同庁舎の主たる建物は目標使用年数を100年とし、県庁舎や地区合同庁舎の従たる建物、職員公舎及びその他施設は、施設構造ごとの法定耐用年数を最低限の目標使用年数として、利用状況に応じた計画的な長寿命化対策を実施することで、できるだけ使用年数を延ばしながら施設を取り巻く状況に応じて柔軟に対応します。

7 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

県民・利用者の安全確保を最重要事項とし、「岩手県公共施設点検マニュアル」に基づく点検を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、その他法定点検等により高度の危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行います。

老朽化等により用途廃止され、かつ今後も利用見込みのない施設は、危険性が生じることがないよう適切に処分・除却を進めていきます。

8 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 計画期間中における対策の方向性
各施設個票のとおり。

(2) 計画期間中における対策の内容と実施時期
各施設個票のとおり。

(3) 実施期間中の概算経費

ア 令和2年度から令和6年度（具体の対策が計画されている期間）

	5, 3 6 1 百万円
内訳：庁舎等	4, 9 2 7 百万円
職員公舎	2 0 2 百万円
その他	2 3 2 百万円

充当財源見込	一般財源
--------	------

イ 令和2年度から令和32年度

	4 3, 1 4 0 百万円
内訳：庁舎等	3 1, 1 4 8 百万円
職員公舎	9, 1 5 2 百万円
その他	2, 8 4 0 百万円

充当財源見込	一般財源
--------	------

県庁・合庁No 1①

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断	低(旧)		
利用度	A		
1次評価	高		
重要性	修繕・改修		
見通し	高		
2次評価	無		
	I		

長寿命化等対策の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用するには、施設サービスの重要性が高いことから今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋上防水修繕工事設計 ・執務環境調査 ・整備方針検討 ・エアン更新工事	・屋上防水修繕 ・執務環境調査 ・整備方針検討 ・電話更新工事 ・自家発電設備修繕	・整備方針検討	・基本計画策定 ・自家発電電池更新 ・照明設備更新(設計)	・長寿命LED照明基本設計 ・照明設備更新工事 ・昇降機長寿命化工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:101,152千円 内訳 防水修繕設計(2,332千円) 執務環境調査(15,400千円) エアコン更新工事(62,590千円) 給電設備OH(5,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 緊急通報装置更新(566千円)	計:358,216千円 内訳 防水修繕工事(63,260千円) 執務環境調査(15,400千円) 整備手法検討(11,814千円) 電話交換設備更新工事(225,016千円) 自家発電設備修繕(29,095千円) 新計設備電池更新(473千円) 給電設備OH(5,060千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源：一般財源	計:30,204千円 内訳 整備方針検討(15,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源：一般財源	計:40,026千円 内訳 基本計画(15,000千円) 自家発電電池更新(2,007千円) 照明設備更新(設計)(1,815千円) 昇降機長寿命化設計(6,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源：一般財源	計:586,978千円 内訳 基本設計(50,000千円) 発電設備電池更新工事(33,490千円) 昇降機長寿命化工事(431,794千円) LED照明設備更新(5,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源：一般財源	合計:1,116,576千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 1②

施設名／棟名	岩手県庁舎(議会棟、渡り廊下棟)			財産区分	行政財産			
所在地	盛岡市内丸10-1			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業地域			
その他区域								
敷地面積	13,037.79㎡	建築面積	2,599.99㎡	延床面積	6,612.10㎡			
構造	SRC	階数	地上3階					
竣工年度 (建築年月)	1965年4月	経過年数 R2.4.1現在	55年					
利用状況	2020年の議員数は48名、一人当たり面積は114m2							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	人口の減少に伴い、利用者数に変化が生じる可能性がある。							
主な設備	①建築設備 ・屋根塗膜防水 ・外壁コンクリート打放		②電気設備 ・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・監視カメラ設備 ・エレベーター		③機械設備 ・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・都市ガス ・消火設備			
劣化度調査	①建築設備 屋上防水や外壁の老朽化が著しく進行しているが、構造躯体は概ね健全であり、長寿命化対策の実施により、さらに長期間の使用が可能。		②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。		③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。			
定期点検	①建築設備 ・軒天コンクリート浮き ・既存不適格 ・雨漏り跡 ・コーキング剥離		②電気設備		③機械設備			
修繕工事履歴	①建築設備 ・防水改修工事(2003) ・外壁改修工事(1993) ・エレベーター設置工事(1994)		②電気設備 ・監視カメラ設備(2019)		③機械設備 ・機械設備改修工事 (エアコン設置)(1987) ・自動制御設備(1990)			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能(低(旧))			
劣化度診断 A			
利用度 高			
1次評価 修繕・改修			
重要性 高			
見通し 無			
2次評価 I			

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度1			
評価結果 (コメント)	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合には、通常の施設サービスに属する施設ではないが、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。				
長寿命化等対策 の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化については、必要な修繕・改修を行いながら、建て替えも含めて検討を行うものとする。				

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋根外壁修繕工事	・空調設備更新設計	・照明設備更新設計 ・空調設備更新工事	・照明設備更新工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:130,444千円 内訳 修繕工事 (127,204千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:4,912千円 内訳 執務環境調査 設備手法検討 (費用は知事局棟に含む) 空調設備更新工事設計 (1,672千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:84,419千円 内訳 整備方針検討 (費用は知事局棟に含む) 照明設備更新設計 (1,815千円) 空調設備更新工事 (79,364千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:31,354千円 内訳 基本計画 (費用は知事局棟に含む) 照明設備更新工事 (28,114千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:3,240千円 内訳 基本設計 (費用は知事局棟に含む) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	合計:254,369千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁№ 2～4

施設名／棟名	盛岡地区合同車庫(1～5号棟)				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県盛岡市北山一丁目213番4				施設類型	車庫						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		用途地域		第一種住居地域					
敷地面積	6,887.36㎡		建築面積		2,038.27㎡		延床面積		2,242.01㎡			
構造	鉄骨造り			階数		1階(4号棟のみ2階)						
竣工年度 (建築年月)	1962年9月、1968年11月(大型車庫1棟)			経過年数 R24.1現在		57年、大型車庫1棟のみ51年						
利用状況	車庫として使用中である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	施設の劣化が見られることから設備のリニューアルあるいは移転等の車庫機能の改善が望まれる。											
主な仕様・設備	建築			電気			機械					
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属 その他 コンクリート直均し等 石膏ボード	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内型 一般形 P型	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	水道直結方式 粉末消火器						
劣化度調査												
定期点検	同上			同上			同上					
修繕工事履歴	2019.3	車庫木崩新設工事										
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	2,776		2,776		0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	2,776	0	2,776	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	利用状況は横ばいの見通し											
2次評価	Ⅲ											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度4
評価結果 (コメント)	施設の劣化が見られることから、修繕・改修が必要である。 改修実施の前に施設の利用方法・改修方法について検討が必要である。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:1,099千円 内訳 維持修繕費(1,099千円) 財源:一般財源	計:1,099千円 内訳 維持修繕費(1,099千円) 財源:一般財源	計:1,099千円 内訳 維持修繕費(1,099千円) 財源:一般財源	計:1,099千円 内訳 維持修繕費(1,099千円) 財源:一般財源	計:1,099千円 内訳 維持修繕費(1,099千円) 財源:一般財源	合計:5,495千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№. 5

施設名／棟名	盛岡地区合同庁舎／本庁舎			財産区分	行政財産	
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号			施設類型	庁舎	
都市計画区域	都市計画区域内			用途地域	商業地域	
その他区域						
敷地面積	4,893.54㎡		建築面積	1,240.57㎡	延床面積	14,866.5㎡
構造	SRC			階数	地上8階、地下1階	
竣工年度 (建築年月)	1969年11月			経過年数	R2.4.1現在	
利用状況	勤務する職員数規模は振興局再編前の2000年と比較すると縮小しているが、当面は横ばいの見込みである。 2000年 768人 →2011年 598人 →2012年 638人 →2020年 676人					
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	本来県庁舎内に設置すべき組織の受け入れ先として活用していることもあり、余剰スペース等はあまり無いことから、既存のままの有効活用は難しい。 (権限委譲により保健所関係のスペースに余裕があるようにも考えられるが、有効活用が可能かどうかは不明)					
主な設備	建築		電気		機械	
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付、タイル貼、金属板貼 モルタル直均し等、ビニル床タイル類、カーペット類、木製フローリング、OAフロア 吹付類、塗装類、壁紙、パーテーション 石膏ボード、吹付類、岩綿吸音板、塗装類	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内キュービクル式 ディーゼル 省エネ型 R/G型、副受信機、非常放送 電子交換機 常用EV 電気時計、拡声、映像・音響、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、エアコン 直吸収冷温水機 ユニット形、パナージュ形、FC 三種 空調用ポンプ、オイルポンプ 中央式監視 高置水槽、公共下水 中央式、真空式温水発生装置 都市ガス 屋内消火栓、連絡給水管、泡消火
劣化度調査	舗装の不陸、塀のクラック、塗装の剥離、内装材の劣化		特になし		冷温水配管劣化、空調設備(エアコン)フロン不適合	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1997.11 2006 2010.3 2014 2020	外部建具改修工事 屋上防水改修工事 エレベーター改修工事 外壁修繕 耐震改修工事、屋上防水改修工事	2000.1 2002.3 2014.3 2019.3 2020.3	幹線設備改修工事 照明器具改修工事 自家発、高圧受電設備更新工事 放送設備更新工事 自火報設備受信機更新	1994.3 1997.2 1998.12 2010.2 2020.7	冷房機器設置工事(エアコン) 機械設備改修工事 冷房設置工事(冷温水発生機等) 中央監視装置ほか改修工事 冷温水配管修繕工事
	計 R1 H30 H29 H28 H27 計	維持修繕 改修 更新 55,202 1,177,200 1,059 0 0 1,233,461	計 R1 H30 H29 H28 H27 計	維持修繕 改修 更新 14,304 10,163 0 0 0 24,467	計 R1 H30 H29 H28 H27 計	維持修繕 改修 更新 14,161 10,163 0 0 0 24,324

【優先度評価】			
建物性能	中		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	修繕・改修		
重要性	必要な施設		
見通し	職員数は横ばいの見通し		
2次評価	I		

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	2020年に震改修工事は完了するが、電気設備、機械設備の改修工から20年以上が経過し、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 また、機器等更新に伴い受電容量の見直し等も含め検討が必要。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・街路灯改修(工事)	・空調設備更新(設計) ・自動制御設備更新(設計)	・電灯設備更新(設計) ・自火報設備更新(設計) ・空調設備更新(工事) ・熱源設備(OH)	・電力中央監視装置改修(工事) ・電灯設備更新(工事) ・自火報設備更新(工事) ・熱源設備(OH)	・自動制御設備改修(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:1,029,071千円 内訳 耐震改修工事 (1,021,766千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:12,862千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (3,674千円) 自動制御設備更新工事 設計 (1,903千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:169,988千円 内訳 電灯設備更新工事 設計 (1,815千円) 自火報設備更新工事 設計 (902千円) 空調設備更新工事 (116,508千円) 熱源設備OH (13,000千円) 自動制御設備更新工事 (28,478千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:87,932千円 内訳 電力中央監視装置改修 工事(2,037千円) 電灯設備更新工事 (50,336千円) 自火報設備更新工事 (15,274千円) 熱源設備OH (13,000千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:10,285千円 内訳 自動制御設備改修設計 (3,000千円) 維持修繕費 (7,285千円) 財源:一般財源	合計:1,310,138千円

個別施設計画（個票）

県庁・倉庁№ 6

施設名／棟名	盛岡地区合同庁舎／別館			財産区分	行政財産				
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号			施設類型	庁舎				
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業施設				
その他区域									
敷地面積	4,893.54㎡		建築面積	280㎡	延床面積	1,135.71㎡			
構造	RC		階数	地上3階					
竣工年度 (建築年月)	1969年11月		経過年数 R2.4.1現在	51					
利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 ※庁内保育人数要確認								
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	1階を庁内保育スペースとして利用								
主な設備	建築		電気		機械				
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付、金属板貼 ビニル床タイル類、カーペット類、OAフロア 吹付類、塗装類、パーテーション、ケイカル 吹付類、岩綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内キュービクル式 屋外ディーゼル 省エネ型 R/G形、副受信機、非常放送 電子交換機、VoIPシステム 電気時計、拡声、映像・音響、誘導 支援、TV、監視カメラ	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、エアコン 直吸収冷温水機 ユニット、パッケージ、FC 三種、一種 空調用ポンプ、オイルポンプ 中央式監視、個別制御 高置水槽、公共下水、井水 局所式、貯湯式電気温水器 都市ガス 屋内消火栓、連絡送水盤、粉末消火			
劣化度調査	階段天井漏水跡		特になし		特になし				
定期点検	同上		同上		同上				
修繕工事履歴									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	
	R1	104,577			40,700		40,700		
	H30	0			0				
	H29	0			0				
	H28	0			0				
	H27	0			0				
	計	104,577	0	104,577	0	40,700	0	40,700	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 （コメント）	1階庁内保育の整備、2～4階の内装更新、躯体補修、屋上防水改修、空調、衛生設備更新済みである。 ただし、冷温水配管や給排水管は既存のままとなっており、既に標準耐用年数を経過していることから計画的な改修等が必要と思われる。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	庁内保育設置 ・2～4階内装改修					
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：247,858千円 内訳 改修工事 (247,302千円) 維持修繕費 (556千円) 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費（556千円） 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源：一般財源	合計：250,082千円 ※機電は本館に含む

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 7

施設名／棟名	花巻地区合同庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県花巻市花城1-41			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし			
その他区域				用途地域	第二種住居地域			
敷地面積	4,060.95㎡		建築面積	1,453.59㎡	延床面積	3,766.5㎡		
構造	鉄筋コンクリート造			階数	3			
竣工年度 (建築年月)	1964年1月			経過年数 R2.4.1現在	56			
利用状況	職員規模は年度により若干の変動はあるが、地方振興局再編前の2000年と比較してもほぼ同じ規模である。 2000年 224人 →2011年 210人 →2012年 214人 →2020年 202人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません。既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	温水方式、エアコン		
	外壁	モルタル吹付	発電	ディーゼル	熱源	真空式温水発生器、銅鉄製ボイラー		
	床	Pタイル、木等	電灯	省エネ型	空調	ファンコベクター、パッケージ		
	壁	石膏ボード、木等	警報	P型	換気	三種、一種		
	天井	岩綿吸音板等	構内交換	電子交換機	ポンプ	空調、オイル		
			その他	電気時計設備 テレビ共同受信設備等	自動制御	中央監視		
劣化度調査	壁クラック、フェンス発錆支柱ぐらつき、窓ガラス亀裂、屋外階段発錆			架台の錆、中継端子箱腐食		冷媒配管化粧カバー破損、室外機パネルねじ不良		
定期点検	同上			同上		同上		
修繕工事履歴	1995.10	防水改修工事		1977	電話交換設備取替工事	1996.12	ボイラー改修工事	
	1998.10	外壁改修工事		1992.3	照明器具改修工事	2000	冷房機器設置工事	
	2011.12	耐震改修工事		2003	電話交換設備更新工事	2003.10	機械設備改修工事	
	2018.3	外壁等改修工事		2012.9	自家用発電設備設置工事	2019.8	エアコン改修工事	
				2018.2	自火報設備更新工事			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	0			0			
	H30	0			12,290			21,360
	H29	99,900		99,900	0			0
	H28	0			4,658			0
	H27	0			0			0
	計	99,900	0	99,900	0	16,948	0	21,360

【優先度評価】					
建物性能	中				
劣化度診断	A				
利用度	高				
1次評価	修繕・改修				
重要性	必要な施設				
見通し	職員数は横ばいの見通し				
2次評価	I				

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後56年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には外壁改修、エアコン更新実施済みであるがその他設備・機器も改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容			空調設備更新(設計)	自家発電設備(OH) ・受変電設備改修(工事) ・高圧区分開閉器改修(工事)	照明設備改修(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:1,846千円 内訳 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:1,846千円 内訳 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:3,848千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (2,002千円) 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:114,203千円 内訳 自家発電設備OH (6,225千円) 受変電設備改修工事 (5,993千円) 高圧区分開閉器改修工事 (968千円) 空調設備更新工事 (99,171千円) 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:3,661千円 内訳 照明設備改修工事 設計 (1,815千円) 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	合計:125,404千円

個別施設計画（個票）

県庁・合同庁舎 8

施設名／棟名	花巻地区合同庁舎(付属棟)			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県花巻市花城1-41			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域		
その他区域								
敷地面積	4,060.95㎡		建築面積	174.94㎡		延床面積	345.89㎡	
構造	鉄骨造			階数	2			
竣工年度 (建築年月)	2002年3月			経過年数 R2.4.1現在	18			
利用状況	文書庫、物置等として使用を継続している。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	文書庫としてのニーズは継続するものと思われる。							
主な仕様・設備	建築			電気		機械		
	屋根	金属	変電	-	冷暖房	-		
	外壁	吹付	発電	-	熱源	-		
	床	土間モルタル	電灯	一般形	空調	-		
	壁	石膏ボード	警報	-	換気	-		
	天井	岩棉吸音板等	構内交換	-	ポンプ	-		
			その他	-	自動制御	-		
					給排水	-		
					給湯	-		
				ガス	-			
				消火	-			
劣化度調査	内壁一部破損、床クラック							
定期点検	同上			同上		同上		
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】			
建物性能	高		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	維持管理		
重要性	必要な施設		
見通し	職員数は横ばいの見通し		
2次評価	I		

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	建築より18年経過しているおり、一部クラックなどが見られるが、文書庫、物置としての利用に影響はないもの。今後も継続使用するため、適切な維持管理が求められる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	合計:845千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№ 9

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／本庁舎				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県北上市芳町2-8				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内				防火地域	準防火地域						
その他区域												
敷地面積	5,093.43㎡				建築面積	939.49㎡		延床面積	2,422.98㎡			
構造	RC				階数	地上3階						
竣工年度 (建築年月)	1966年3月				経過年数	R24.1現在			54			
利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。 2000年 230人 →2011年 104人 →2012年 102人 →2020年 86人											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられるが、老朽化対策が必要と思われる。											
主な設備	建築				電気			機械				
	屋根	金属、塗膜防水			受変電	屋外キュービクル式		冷暖房	温水方式、FFストーブ、エアコン			
	外壁	モルタル吹付、タイル貼			発電	屋外ディーゼル		熱源	真空式温水発生機			
	床	ビニル床タイル類、タイル・石貼			電灯	省エネ型		空調	コネクタ、ファンコネクタ、パッケージ			
	壁	塗装類、木製、パーテーション、石こうボード			警報	P形、非常ベル		換気	三種、一種			
	天井	岩綿吸音板等			構内交換	電子交換機、VoIPシステム		空調用ポンプ	空調用ポンプ、温水循環ポンプ			
劣化度調査	クラック、塗装剥離、天井漏水跡				特になし			架台等発錆あり				
	同上				同上			同上				
	修繕工事履歴	1988.8	煙突等屋上防水改修			1990.11	放送設備改修工事		1997.11	ボイラー改修工事		
		1992	改修工事			1991.10	電気設備改修工事		2000	冷房機器設置工事		
		1993.11	玄関改修			2004	電話交換機更新		2002.3	機械設備改修工事		
		2012.9	耐震、外装改修・置屋根塗装、一部建具改修			2012.9	自家用発電設備設置		2004.10			
2014.2					2015	電話交換設備更新		2018.2	ガス系消火設備更新			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0				0				0			
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				7,452		7,452	
H28	0				0				0			
H27	0			11,347	0			11,347	0			
計	0	0	0	0	11,347	0	0	11,347	7,452	0	7,452	

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後54年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備改修(設計)	・空調設備更新(設計)	・受変電設備改修(工事) ・放送設備更新(工事) ・空調設備更新(工事)	・自火報設備改修 設計 ・自家発電設備(OH) ・電話交換機停電用蓄電池更新工事	・照明設備改修(設計) ・自火報設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:2,089千円 内訳 放送設備改修工事 設計 (502千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:4,542千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (3,355千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:48,310千円 内訳 受変電設備改修工事 (8,205千円) 放送設備更新工事 (7,988千円) 空調設備更新工事 (32,842千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:9,139千円 内訳 自火報設備改修 設計 (902千円) 自家発電設備OH (6,225千円) 電話交換機停電用蓄電池 更新工事(825千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:13,463千円 内訳 照明設備改修工事 設計 (1,815千円) 自火報設備改修工事 (10,401千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	合計:77,543千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁給 10

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／倉庫棟				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県北上市芳町2－8				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域		用途地域		第一種住居地域			
その他区域												
敷地面積	5,093.43㎡		建築面積		285.3㎡		延床面積		285.3㎡			
構造	CB			階数		1						
竣工年度 (建築年月)	1966年3月			経過年数 R2.4.1現在		54						
利用状況	北上地区合同庁舎における倉庫として利用している。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	当面は、継続して倉庫として利用する見通し											
主な設備	建築			電気			機械					
劣化度調査	クラック、剥離			特になし			室外機カバー破損					
定期点検	同上			同上			同上					
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】			
建物性能	中		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	修繕・改修		
重要性	必要な施設		
見通し	職員数は横ばいの見通し		
2次評価	I		

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築後54年経過しており外壁にクラックや剥離が見られること等から、適宜修繕・改修や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	合計:700千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁給 11

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／車庫棟			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域						
その他区域												
敷地面積	5,093.43㎡		建築面積	623.99㎡		延床面積	1,253.12㎡					
構造	鉄筋コンクリート造			階数	2							
竣工年度 (建築年月)	1979年3月			経過年数 R2.4.1現在	41							
利用状況	北上地区合同庁舎に配備する公用車庫及び実験室として利用している。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	当面は、継続して車庫・実験室として利用する見通し											
主な設備	建築		電気		機械							
劣化度調査	クラック、塗装剥離		特になし		エアコン故障							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築から40年経過しており損傷している箇所、故障している機器があることから、適宜修繕・改修や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	合計:3,070千円

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／附属棟			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	準防火地域			
その他区域								
敷地面積	5,093.43㎡		建築面積	164.03㎡	延床面積	328.06㎡		
構造	S		階数	2				
竣工年度 (建築年月)	2000年12月		経過年数 R2.4.1現在	20				
利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。 2000年 230人 →2011年 104人 →2012年 102人 →2020年 86人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37％であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。							
主な設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	Co直均し等、ビニル床タイル類 吹付類、塗装類、木製、パーテーション 岩綿吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、FFストーブ、エアコン 真空式温水発生機 ファンコベクター、パナッージ 三種 オイルポンプ、温水循環ポンプ 中央式監視、個別 加圧送水、公共水道 中央式、局所式 液化石油ガス 屋内消火栓、不活性ガス消火、粉末			
	劣化度調査		特になし		エアコン故障			
	定期点検		同上		同上			
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果 （コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており故障している機器があることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源：一般財源	合計：805千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁給 13

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／犬抑留所				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県北上市芳町2－8				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域		用途地域		第一種住居地域			
その他区域												
敷地面積	5,093.43㎡		建築面積		130.15㎡		延床面積		130.15㎡			
構造	W				階数				1			
竣工年度 (建築年月)			2000年12月		経過年数 R2.4.1現在				20			
利用状況	所管区域内の犬抑留所として利用											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	当面、継続して犬抑留所として利用する見通し											
主な設備	建築				電気				機械			
劣化度調査	特になし				特になし				特になし			
定期点検	同上				同上				同上			
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【優先度評価】			
建物性能	高		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	維持管理		
重要性	必要な施設		
見通し	職員数は横ばいの見通し		
2次評価	I		

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており適宜修繕しながら維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常生活に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計：64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源：一般財源	合計：320千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎等 14

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 本庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	奥州市水沢区大手町1ー2			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			用途地域	近隣商業地域			
その他区域								
敷地面積	5,703.77㎡		建築面積	1,039.25㎡	延床面積	3,010.15㎡		
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度 (建築年月)	1967年5月		経過年数 R2.4.1現在	53				
利用状況	職員数は振興局再編前とほぼ同じ規模である。 2000年 175人 →2011年 189人 →2012年 203人 →2020年 180人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません。既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	温水方式、エアコン		
	外壁	モルタル吹付	発電	ディーゼル	熱源	真空式温水発生器		
	床	Pタイル	電灯	省エネ型	空調	ファンコベクター、ユニット、パッケージ		
	壁	ブロック、木等	警報	P型	換気	三種		
	天井	岩綿吸音板等	構内交換 EV その他	電子交換機 乗用	ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	空調、オイル 中央監視 加圧送水、自動給水ポンプユニット 中央、局所併用 都市ガス 屋内消火栓、不活性ガス消火		
劣化度調査	壁クラック、天井材のずれ、側溝の破損、ドレーンの汚れ		外部コンセントカバー外れ		未使用配管の破断、ダクト内に水			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1992.12	外壁改修	2017.3	電話交換機更新	2001.12	空調・衛生・ガス設備改修工事		
	1996.3	屋上防水改修	2018.2	自動火災報知設備更新	2018.3	ガス消火ポンプ更新		
	2012	(震災復旧)改修工事	2018.3	放送設備更新	2020.2	自動制御設備更新		
	2014.3	耐震改修工事	2018.12	高圧区分開閉器更新工事				
	2018.6	屋根外壁改修工事						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1 H30 H29 H28 H27 計	0 93,651 0 0 0 93,651	0 93,651 0 0 0 0	0 0 17,855 0 0 17,855	0 0 0 0 0 0	17,800 0 12,366 0 0 29,966	0 0 0 0 0 0	17,800 0 12,366 0 0 29,966

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後53年が経過していることから建替えや大規模改修等検討の時期である。 建替え等の際には、職員数の少ない分庁舎や江刺分庁舎との複合化などの検討が必要である。

長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受電設備更新 ・地下タンクライング	・空調更新設計	・空調更新工事		・自家発分解整備	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:12,486千円 内訳 受電設備更新 (4,807千円) 地下タンクライング (6,204千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:4,170千円 内訳 空調更新設計 (2,695千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:55,812千円 内訳 空調更新工事 (54,337千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:1,475千円 内訳 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:16,925千円 内訳 自家発整備 (12,450千円) 昇降機改修設計 (3,000千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	合計:90,868千円 ※分庁舎費用含む

個別施設計画(個票)

編入・合併後 15

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 分庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	奥州市水沢区大手町5-5			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし							
その他区域				用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	1,182.96㎡		建築面積	492.2㎡		延床面積	2,078.12㎡					
構造	鉄筋コンクリート造			階数	地上3階	地下1階						
竣工年度 (建築年月)	1980年9月			経過年数	R2.4.1現在		40					
利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 49人 →2011年 68人 →2012年 73人 →2020年 66人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません。既存のままの有効活用は難しい。											
主な仕様・設備	建築			電気		機械						
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板屋根 一部シフト防水 モルタル吹付 Pタイル RC、木等 岩綿吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ型 電気時計、拡声、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	蒸気方式、エアコン 小型貫流ボイラー FC、パッケージ型 三種、一種 真空給水ポンプ、オイルポンプ 中央式監視 高置水槽、公共下水 局所式 都市ガス 不活性ガス消火						
劣化度調査	壁クラック、機械駐車バレットの腐食、天井漏水跡			誘導灯、非常用照明バッテリー切れ、プルボックス腐食		天井換気扇設置不良、受水槽劣化						
定期点検	同上			同上		同上						
修繕工事履歴	2000.9 2019.2	外壁改修 屋根・外壁改修	2017.3 2018.2 2018.3 2018.12	電話交換機更新 自動火災報知設備更新 放送設備更新 高圧区分開閉器更新工事	1999 2000 2018.3	冷房機器設置 暖房用ボイラー移設 ガス消火ポンプ更新						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0				0				0			
R1	48,915		48,915		0				0			
H30	0				17,855			17,855	12,366			12,366
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	48,915	0	48,915	0	17,855	0	0	17,855	12,366	0	0	12,366

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	1

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果 (コメント)	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。長寿命化で継続使用するには既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。建替え等の際には、本庁舎や職員数の少ない江刺分庁舎との複合化など検討も必要である。
長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受電設備更新	・空調更新設計	・空調更新工事	・電話交換機停電用蓄電池更新工事		※維持修繕費を除き、本庁舎に費用計上
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:1,018千円 内訳 受電設備更新(※) 地下タラコニク(※) 維持修繕費(1,018千円)	計:1,018千円 内訳 空調更新設計(※) 維持修繕費(1,018千円) 財源:一般財源	計:1,018千円 内訳 空調更新工事(※) 維持修繕費(1,018千円) 財源:一般財源	計:1,843千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事(825千円) 維持修繕費(1,018千円) 財源:一般財源	計:1,018千円 内訳 維持修繕費(1,018千円) 財源:一般財源	合計:5,915千円 ※本庁舎に費用計上 上記金額は維持修繕費計
	財源:一般財源					

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 車庫				財産区分	行政財産						
所在地	奥州市水沢区大手町1ー2				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内				防火地域	指定なし						
その他区域					用途地域	近隣商業地域						
敷地面積	5,703.77㎡		建築面積	404.8㎡		延床面積	363.8㎡					
構造	鉄骨造			階 数	1							
竣工年度 (建築年月)	1980年10月			経過年数 R2.4.1現在	40							
利用状況	ニーズはあるが、駐車バレットの劣化により使用できない部分もある。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建 築			電 気			機 械					
	屋根	折板		受変電	-		冷暖房	-				
	外壁	成型セメント板		発電	-		熱源	-				
	床	土間モルタル		電灯	一般形		空調	-				
	壁	-		警報	-		換気	-				
	天井	-		構内交換	-		ポンプ	-				
				EV	-		自動制御	-				
			その他	-		給排水	水道直結					
						給湯	-					
						ガス	-					
						消火	不活性ガス消火					
劣化度調査	ガラスの割れ、軒天井の破損・劣化			特に無し			昇降式駐車設備のバレットの腐食					
定期点検	同上			同上			同上					
修繕工事履歴	2018.6	屋根外壁改修工事(塗装のみ)					2017	ガス系消火設備改修工事				
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			0
H30	93,651		93,651		0				0			
H29	0				0			0	12,366			12,366
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	93,651	0	93,651	0	0	0	0	0	12,366	0	0	12,366

（本庁舎と一体）

（本庁舎と一体）

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 （コメント）	軒天井などの外装材や駐車装置などの劣化が著しく、大幅な修繕が必要な状況である。庁舎を使用する限り車庫としてのニーズは継続するものと思われる。

長寿命化等対策 の方向性	外装材の劣化や昇降式駐車設備の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	合計：890千円

患序·合序No. 17

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

長寿命化等対策の方向性	内装等の更新を行っていないため見た目は劣化しているが、H30年度に外装の修繕工事を実施しているため、物置として使用する分には支障がないと思われる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	合計:555千円
	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	

個別施設計画（個票）

県庁・庁舎№ 18

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分行舎／旧館・新館				財産区分	行政財産		
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番				施設類型	庁舎		
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		用途地域	商業地域		
その他区域								
敷地面積	3,653.85㎡		建築面積	998.92㎡		延床面積	2,618.54㎡	
構造	RC			階数	地上4階			
竣工年度 (建築年月)	1964年11月		経過年数	R24.1現在				
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60％であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 106人 →2011年 64人 →2012年 58人 →2020年 62人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	執務室を新館若しくは旧館何れかに集約し、余剰スペースを文書庫として県南地区全体で活用する、民間への貸し出しなどが想定できるが、現状でも余剰スペースのほとんどが本庁舎の書庫として使用されていることから有効活用するにあたり書類の整理等が必要。							
主な設備	建築			電気		機械		
	屋根	金属、シート防水	受変電	屋外キュービクル式	冷暖房	局所暖(FF等)、局所冷(エアコン等)		
	外壁	Oo打放+吹付	発電	屋外ディーゼル	熱源			
	床	ビニル床タイル類、タイル・石貼	電灯	省エネ型	空調	ユニット、パッケージ		
	壁	塗装類、壁紙、タイル・石貼、パーテイング、石こうボード	警報	P形、副受信機	換気	三種、一種		
劣化度調査	天井	岩綿吸音板等、石綿板	構内交換	電子交換機	ポンプ	オイルポンプ		
			EV	常用EV	自動制御	中央式監視、個別		
			その他	電気時計、拡声、TV	給排水	加圧送水、公共水道		
					給湯	中央式(FF用)		
					ガス	液化石油ガス		
					消火	不活性ガス、粉末、消火ポンプ、		
定期点検	同上			同上		同上		
修繕工事履歴	1996.3	エレベーター設置	2012.11	電気設備改修工事	1997.11	ボイラ-改修工事		
	2000.1	外壁等補修	2015.12	自家発電設置	2000.9	冷房機器設置工事		
	2015.1	耐震・外壁補修	2017.3	電話交換機設備更新	2012.12	機械設備改修工事		
	2019.3	屋上防水等	2018.3	拡声設備更新	2018.2	ガス系消火設備更新		
			2019.2	自動火災報知設備更新	2020	エアコン更新		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	25,564		25,564		4,362			
H29	0				0			
H28	0				8,410			
H27	0				38,995			
計	25,564	0	25,564	0	51,767	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度2
評価結果 （コメント）	新館、旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 執務室として利用率が低いことから本庁舎との集約の検討も必要である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 有効活用にあたっては、本来の執務室の半分以上が空きスペースとなっている可能性があるが、奥州合庁の書庫となっていることから書類の整理等が必要。	
長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。	

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・東庫棟改修（工事） ・空調設備改修（工事）			・電話交換機停電用蓄電池更新（工事）		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：44,579千円 内訳 空調設備改修工事 （43,296千円） 維持修繕費 （1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費 （1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費 （1,283千円） 財源：一般財源	計：2,108千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事（825千円） 維持修繕費 （1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費 （1,283千円） 財源：一般財源	合計：50,536千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁編 19

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎／農林実験棟				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		指定なし	用途地域	商業地域					
その他区域												
敷地面積	3,653.85㎡		建築面積		70.87㎡		延床面積		121㎡			
構造	S				階数	地上2階						
竣工年度 (建築年月)	1980年3月				経過年数 R2.4.1現在	40						
利用状況	実験室として利用している。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	庁舎の付属施設として必要な施設である。											
主な設備	建築				電気			機械				
劣化度調査	雨樋腐食、壁クラック、軒天発錆				特になし			蛍光灯カバー破損				
定期点検	同上				同上			同上				
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】					
建物性能	低				
劣化度診断	A				
利用度	中				
1次評価	修繕・改修				
重要性	必要な施設				
見通し	職員数は横ばいの見通し				
2次評価	I				

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 （コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。建替え等の際には、本庁舎や分庁舎との複合化など検討が必要と思われる。 ※令和2年度 車庫外壁等修繕工事の際に雨樋部分改修

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	合計：295千円

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎／車庫A				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		指定なし		用途地域	商業地域				
その他区域												
敷地面積	3,653.85㎡		建築面積		176.4㎡		延床面積		176.4㎡			
構造	S			階数	地上1階							
竣工年度 (建築年月)	1964年11月			経過年数	R2.4.1現在		56					
利用状況	江刺分庁舎に配備する公用車庫として利用											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	車庫として継続して利用											
主な設備	建築			電気			機械					
劣化度調査	雨漏り跡あり、ブレース外れ、鉄部腐食、壁クラック、入口部モルタル破損			特になし			機械室駐車場床板鉄板腐食					
定期点検	同上			同上			同上					
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	B											
利用度	中											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	職員数は横ばいの見通し											
2次評価	I											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度1
評価結果 （コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 ※車庫棟は令和2年度外壁等修繕工事実施

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	→ 車庫棟改修（工事）					
			→ 日常点検に基づく維持修繕		→	
概算費用 【充当財源（見込）】	計：33,724千円 内訳 車庫棟改修工事 （33,638千円） 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	合計：34,068千円

個別施設計画（個票）

県庁・倉庁 № 21

施設名／棟名	一関地区合同庁舎				財産区分	行政財産		
所在地	岩手県一関市竹山町7-5				施設類型	庁舎		
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域		商業地域	
その他区域								
敷地面積	9,188.28㎡		建築面積		2,206.82㎡		延床面積	5,273.37㎡
構造	鉄筋コンクリート造				階数	4		
竣工年度 (建築年月)	1981年6月				経過年数 R2.4.1現在	39		
利用状況	振興局再編前と比較して職員数は約83%と減少しているが、15年前と比較すると横ばいである。 2000年 243人 →2011年 209人 →2012年 218人 →2020年 201人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません。既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築			電気			機械	
	屋根	金属、シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、局所暖房、エアコン		
	外壁	コンクリート打放+吹付	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機		
	床	Pタイル	電灯	一般形	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット		
	壁	パーテーション	警報	P型	換気	三種、一種		
	天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機	ポンプ	空調、オイル、湯水		
			EV	兼用EV	自動制御	中央監視		
		その他	電気時計設備	給排水	高置水槽方式			
			テレビ共同受信設備等	給湯	中央、局所併用			
				ガス	都市ガス			
				消火	屋内消火栓、不活性ガス、粉末			
劣化度調査	天井雨漏り跡、パーテーションずれ、地盤沈下（敷地内共通）			天井器具（灯具、ガラリ等）のずれ、ハンドホール雨水溜まり			冷却塔架台・配管発錆、換気扇廻り吹込み跡（機械室）	
定期点検	同上			同上			同上	
修繕工事履歴	1989.12	屋根塗装	2004	電話交換設備更新工事	1995.3	冷房機器設置工事		
	1992.3	エレベーター設置他工事	2012.3	自家用発電設備更新工事	2005	機械設備改修工事		
	2005.10	防水シート改修工事	2020.3	自火報設備更新工事	2018.3	ガス系消火設備更新工事		
	2014.12	屋根塗装			2019.2	中央監視装置更新工事		
	2020.3	外壁屋根塗装						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	136,861	136,861		0		0		
H30	0			0		25,563		25,563
H29	0			0		8,478		8,478
H28	0			0		0		
H27	0			0		0		
H27	0			0		0		
計	136,861	136,861	0	0	0	34,041	0	34,041

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修検討の時期である。長寿命化で継続使用するには設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受変電設備改修（工事） ・高圧区分開閉器改修（工事） ・電話設備改修（工事） ・昇降機設備改修（工事） ・地下タンクライニング（工事）	・昇降機設備改修（工事）		・照明設備更新（工事）	・自家発電OH（工事）	
			日常点検に基づく維持修繕			
概算費用【充当財源（見込）】	計：32,625千円 内訳 高圧区分開閉器改修工事（1,023千円） 受変電設備更新工事（4,466千円） 電話設備改修工事（17,875千円） 昇降機設備改修工事設計（2,387千円） 地下タンクライニング工事（4,290千円） 維持修繕費（2,584千円） 財源：一般財源	計：27,620千円 内訳 昇降機設備改修工事（25,036千円） 維持修繕費（2,584千円） 財源：一般財源	計：2,584千円 内訳 維持修繕費（2,584千円） 財源：一般財源	計：52,920千円 内訳 照明設備更新工事（50,336千円） 維持修繕費（2,584千円） 財源：一般財源	計：9,272千円 内訳 自家発電設備OH（6,688千円） 維持修繕費（2,584千円） 財源：一般財源	合計：125,021千円

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県一関市竹山町7-5			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域			
その他区域								
敷地面積	9,188.28㎡		建築面積	399.7㎡	延床面積			
構造	鉄骨造		階数	1				
竣工年度 (建築年月)	1981年6月		経過年数 R2.4.1現在	39				
利用状況	車庫として継続して使用中である。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	折板屋根	受変電	-	冷暖房 -			
	外壁	ALC	発電	-	熱源 -			
	床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調 -			
	壁	-	警報	-	換気 三種			
	天井	-	構内交換	-	ポンプ -			
			EV	-	自動制御 -			
			その他	-	給排水 -			
					給湯 -			
					ガス -			
劣化度調査	-		-		-			
定期点検	-		-		-			
修繕工事履歴	2020.3 屋根・外壁改修		2020.3 泡消火設備修繕					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎に含む

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 （コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、適宜修繕を行い、維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバ－ホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	合計：980千円

個別施設計画（個票）

黒庁・合同庁 23

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 附属棟				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県一関市竹山町7-5				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域		用途地域		商業地域			
その他区域												
敷地面積	9,188.28㎡		建築面積		170.46㎡		延床面積		241.21㎡			
構造	鉄骨造				階数				2			
竣工年度 (建築年月)	2002年2月				経過年数 R2.4.1現在		18					
利用状況	書庫、会議室、入札室として継続して使用中である。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	上記のニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築				電気				機械			
	屋根	金属	受変電	キュービクル式	冷暖房	局所暖房、エアコン						
	外壁	ACL	発電	-	熱源	-						
	床	Pタイル	電灯	一般形	空調	-						
	壁	パーティション	警報	P型	換気	三種、一種						
	天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機	ポンプ	-						
			EV	-	自動制御	-						
			その他	-	給排水	-						
劣化度調査	-				-				-			
定期点検	-				-				-			
修繕工事履歴	2020.3	外壁屋根塗装										
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎に含む

【優先度評価】											
建物性能	高										
劣化度診断	A										
利用度	高										
1次評価	維持管理										
重要性	必要な施設										
見通し	需要は継続										
2次評価	I										

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 （コメント）	書庫、会議室、入札室としてのニーズは継続するものと思われる。外壁改修を実施しており、特別不具合も発生していないことから、適切な維持管理が求められる。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	合計：590千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁舎 24

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 旧館			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,200.62㎡ 建築面積		680.82㎡	延床面積	2,008.13㎡
構 造	鉄筋コンクリート造		階 数	3	
竣工年度 (建築年月)	1964年12月		経過年数 R2.4.1現在	56	
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 187人 →2011年 92人 →2012年 91人 →2020年 88人				
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。				
主な仕様・設備	建築		電気		機械
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 タイル貼り、モルタル吹付 Pタイル ブロック、パーテーション等 岩綿吸音板、石綿板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 兼用 電気時計計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火 屋内消火栓
劣化度調査	屋上ドレンに雑生、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		ブルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴	1988 2001.3 2013.3 2015.12	改修工事 外部建具改修 防水・外壁改修 耐震改修工事	1988.9 2000.9 2014.12 2016.3 2020.3	受変電、照明、弱電更新 受変電増設 自家発電設備設置 電話交換機更新 自火報設備更新	1988 1996.1 2000 2014.1 2020.9
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1	0				14,233
H30	0				0
H29	0				0
H28	0				0
H27	94,821		94,821		10,648
計	94,821	0	94,821	0	24,881

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上が経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。
長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容		・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕工事			
			日常点検に基づく維持修繕			
概算費用 【充当財源(見込)】	計:984千円 内訳 維持修繕費 (984千円) 財源:一般財源	計:5,978千円 内訳 屋根外壁工事設計(4,994千円) 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:125,081千円 内訳 屋根外壁工事(124,087千円) 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:984千円 内訳 維持修繕費 (984千円) 財源:一般財源	計:984千円 内訳 維持修繕費 (984千円) 財源:一般財源	合計:134,011千円

個別施設計画（個票）

県庁・庁舎 25

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 新館			財産区分	行政財産						
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域						
その他区域											
敷地面積	5,200.62㎡		建築面積	529.89㎡	延床面積	1,485.59㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3							
竣工年度 (建築年月)	1988年9月		経過年数 R2.4.1現在	32							
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 187人 →2011年 92人 →2012年 91人 →2020年 88人										
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。										
主な仕様・設備	建築		電気		機械						
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水、折板屋根(渡り廊下) タイル貼り、モルタル吹付 Pタイル 石こうボード、パーテーション等 岩綿吸音板、石綿板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 乗用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	蒸気方式、エアコン 鉄製製ボイラー ファンコベクター、バックージ 一種 真空給水、オイル 中央監視 加圧送水、自動給水ポンプユニット 屋内消火栓					
劣化度調査	屋上パラベット立上り凍害、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		ブルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ						
定期点検	同上		同上		同上						
修繕工事履歴			2000.9 受変電増設 2014.12 自家発電設備設置 2016.3 電話交換機更新 2020.3 自火報設備更新		1996.1 空調、衛生設備 2000 冷房機器設置 2014.1 下水道接続 2020.9 自動制御更新						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新			
R1	0				14,233						
H30	0				0						
H29	0				0						
H28	0				0						
H27	0				10,648			10,648			
計	0	0	0	0	24,881	0	0	24,881	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。
長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容		・昇降機改修設計 空調設備更新設計	・電話交換機蓄電池更新 ・放送用設備更新 ・昇降機改修工事 ・空調設備更新工事	・変電設備改修 ・放送用設備更新設計	・自家発電OH 放送用設備更新工事 空調設備更新計	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：728千円 内訳 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：5,711千円 内訳 昇降機改修 （2,629千円） 空調設備更新設計 （2,354千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：63,310千円 内訳 電話交換機蓄電池更新 （825千円） 昇降機改修工事 （35,715千円） 空調設備更新 （26,042千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：6,674千円 内訳 変電設備改修 （5,044千円） 放送用設備設計 （902千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：14,939千円 内訳 自家発電OH （6,225千円） 放送用設備更新工事 （7,986千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	合計：91,362千円

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 車庫			財産区分	行政財産							
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし		用途地域	第二種住居地域					
その他区域												
敷地面積	5,200.62㎡		建築面積	231.99㎡		延床面積	231.99㎡					
構造	鉄骨造		階数	1								
竣工年度 (建築年月)	1988年9月		経過年数 R2.4.1現在	32								
利用状況	車庫として継続して使用中である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築			電気		機械						
	屋根	折板屋根	受変電	-		冷暖房	-					
	外壁	ALC	発電	-		熱源	-					
	床	土間コンクリート	電灯	一般型		空調	-					
	壁	-	警報	-		換気	三種					
	天井	-	構内交換	-		ポンプ	-					
			EV	-		自動制御	-					
			その他	-		給排水	-					
						給湯	-					
						ガス	-					
					消火	-						
劣化度調査	鉄部発錆			-		-						
定期点検	同上			-		-						
修繕工事履歴				2020.3	自火報設備更新(庁舎工事に付随)							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	14,233	0	0	14,233	0	0	0	0

（庁舎工事含む）

【優先度評価】												
建物性能	高											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	需要は継続											
2次評価	I											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果 （コメント）	駐車場としてのニーズは継続すると思われる。鉄部等に発錆が見られるため、塗装等の改修を行えば、当面継続使用可能である。

長寿命化等対策 の方向性	庁舎の今後の整備方針に応じて長寿命化を検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	合計：570千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№ 27

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 庁舎棟			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 防火地域 指定なし			用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域				
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	1,142.76㎡	延床面積	4,764.34㎡
構造	鉄筋コンクリート造			階数	4
竣工年度 (建築年月)	1974年11月			経過年数 R2.4.1現在	46
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増したのち減少傾向にあり、震災前とほぼ同じ規模にある 2000年 251人 →2011年 234人 →2012年 329人 →2020年 240人				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はありませんため、既存のままの有効活用は難しい。				
主な仕様・設備	建築		電気		機械
	屋根 シート防水 外壁 タイル貼り、モルタル吹付 床 Pタイル 壁 塗装、壁紙等 天井 岩綿吸音板、壁紙、塗装等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型、非常用照明電池別置形 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 兼用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 給排水 給湯 ガス 消火	冷水水方式、エアコン 直吸収冷水機 三種 空調用、オイル用 中央監視 高置水槽 中央式、真空式温水発生器 液化石油 屋内消火栓
劣化度調査	舗装不陸、クロスのはがれ、壁・床クラック、床タイル剥がれ		-		ガリのずれ、エアコン室外機発錆
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴	1993.2 屋上防水、外壁改修 2009.5 耐震改修 2012 修繕工事(震災被災箇所) 2020.3 屋上防水、外壁改修工事	2003 電話交換設備更新 2010.12 自家用発電設備設置 2016.1 太陽光発電設備設置 2015 放送設備更新 2019.3 電話交換設備更新	1995.1 冷房機器設置 1999.12 空調、衛生設備改修 2004 地下タンク更新 2019.2 中央監視更新 2020.3 衛生設備接続		
直近5年の維持修繕・改修費	計 109,006 R1 0 H30 0 H29 0 H28 0 H27 0 計 109,006	維持修繕 109,006 改修 更新 0	計 15,444 維持修繕 改修 更新 0	計 15,444 維持修繕 改修 更新 0	計 20,471 維持修繕 27,194 改修 0 更新 27,194

【優先度評価】					
建物性能	高				
劣化度診断	A				
利用度	高				
1次評価	維持管理				
重要性	必要な施設				
見通し	職員数は震災の影響で増加し、減少傾向であったが現在は震災前とほぼ同じ規模で今後減少の見込み。				
2次評価	I				

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	耐震改修や外装の改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、内装仕上 げの劣化等が目立つことから大規模改修等を検討する時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設 備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管 理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けるこ ととしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・ 改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持 修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸すると ともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・自火報更新工事	・受電設備更新	・照明更新設計 ・昇降機改修設計	・照明更新工事 ・昇降機改修工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:9,430千円 内訳 自火報更新(7,095千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:6,554千円 内訳 受電設備(4,219千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:6,779千円 内訳 照明更新設計(1,815千円) 昇降機改修設計(2,629千 円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:94,964千円 内訳 自家発電補修(6,578 千円) 照明更新(50,336千 円) 昇降機改修(35,715千 円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:2,335千円 内訳 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	合計:120,062千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁施設 28

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 ボイラー室				財産区分	行政財産		
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1				施設類型	庁舎		
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		指定なし	用途地域	第二種住居地域	
その他区域	土地区画整理事業区域							
敷地面積	8,584.3㎡		建築面積		120㎡	延床面積	120㎡	
構造	鉄筋コンクリート造				階数	1		
竣工年度 (建築年月)	1974年11月				経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、必要な建物である。							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	現庁舎を継続使用する限り、又は、冷暖房のシステムを全面更新しない限り必要な建物である。							
主な仕様・設備	建築			電気			機械	
	屋根	シート防水	受変電	-	冷暖房	冷水方式、エアコン		
	外壁	コンクリート+塗装	発電	-	熱源	直吸収冷水水機		
	床	土間モルタル	電灯	一般型	空調	三種		
	壁	コンクリート打ち放し	警報	-	換気	三種		
	天井	コンクリート打ち放し	構内交換	-	ポンプ	空調用、オイル用		
			EV	-	自動制御	中央監視		
			その他	-	給排水	高置水槽		
劣化度調査	特に無し			特に無し			特に無し	
定期点検	同上			同上			同上	
修繕工事履歴	2020.3 屋上防水、外壁改修工事					1995.1 1999.12 2004 2019.2	冷房機器設置 空調、衛生設備改修 地下タンク更新 中央監視更新	
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006		0			0	
H30	0			0			27,194	27,194
H29	0			0			0	
H28	0			0			0	
H27	0			0			0	
計	109,006	109,006	0	0	0	0	27,194	0

(庁舎工事と一体)

(庁舎工事と一体)

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	庁舎に準ずる
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、庁舎が存続する限りは継続して必要となる。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施していることから、当面の継続使用に支障はないと思われる。庁舎の熱源ボイラーを格納する施設であるため、今後の庁舎の整備方針に応じて長寿命化や建替え等の検討を行うこととする。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	合計:295千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁№ 29

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 車庫A			財産区分	行政財産			
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			用途地域	第二種住居地域			
その他区域	土地区画整理事業区域							
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	851.16㎡	延床面積	851.16㎡			
構造	鉄骨造		階数		1			
竣工年度 (建築年月)	1974年11月		経過年数 R2.4.1現在	46				
利用状況	公用車庫として利用率が高い。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは高く、他の利用は見込めない。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	折板屋根	受変電	-	冷暖房	-		
	外壁	コンクリートブロック+吹付	発電	-	熱源	-		
	床	土間モルタル	電灯	一般型	空調	-		
	壁	コンクリートブロック+塗装	警報	-	換気	換気扇		
	天井	-	構内交換	-	ポンプ	-		
			EV	-	自動制御	-		
			その他	-	給排水	水道直結		
					給湯	-		
					ガス	-		
				消火	-			
劣化度調査	特に無し		特に無し		特に無し			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	2020.3	屋上防水、外壁改修工事						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	109,006	109,006		0			0
	H30	0			0			0
	H29	0			0			0
	H28	0			0			0
	H27	0			0			0
	計	109,006	109,006	0	0	0	0	0
	(庁舎工事と一体)							

【優先度評価】												
建物性能 高												
劣化度診断 A												
利用度 高												
1次評価 維持管理												
重要性 必要な施設												
見通し 車庫のニーズは継続するものと思われる。												
2次評価 I												

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	築年数は経過しているが、利用率も高く、令和元年度に屋根外壁の改修工事も実施しているため、当面使用は可能と思われる。

長寿命化等対策 の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているため、必要最小限の維持修繕工事を行うことで、当面継続使用が可能と思われる。今後、庁舎の整備方針に応じて、大規模改修や建替え等の検討を行うこととする。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	合計:2,085千円

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 車庫B				財産区分	行政財産			
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1				施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域 指定なし		用途地域	第二種住居地域			
その他区域	土地区画整理事業区域								
敷地面積	8,584.3㎡		建築面積		167.92㎡		延床面積		167.92㎡
構造	鉄骨造			階 数		1			
竣工年度 (建築年月)	1974年11月			経過年数 R2.4.1現在		46			
利用状況	公用車車庫として利用率が高い。								
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは高く、他の利用は見込めない。								
主な仕様・設備	建 築				電 気			機 械	
	屋根	折板屋根			受変電	-	冷暖房	-	
	外壁	コンクリートブロック+吹付			発電	-	熱源	-	
	床	土間モルタル			電灯	一般型	空調	-	
	壁	コンクリートブロック+塗装			警報	-	換気	換気扇	
	天井	-			構内交換	-	ポンプ	-	
					EV	-	自動制御	-	
					その他	-	給排水	-	
						給湯	-		
						ガス	-		
						消火	-		
劣化度調査	特に無し				特に無し			特に無し	
定期点検	同上				同上			同上	
修繕工事履歴	2020.3		屋上防水、外壁改修工事						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	
R1	109,006	109,006			0				0
H30	0				0				0
H29	0				0				0
H28	0				0				0
H27	0				0				0
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	0

(庁舎工事と一体)

【優先度評価】													
建物性能 高													
劣化度診断 A													
利用度 高													
1次評価 維持管理													
重要性 必要な施設													
見通し 車庫のニーズは継続するものと思われる。													
2次評価 I													

【総合判定】													
総合判定／優先度	維持管理 / 優先度3												
評価結果 (コメント)	築年数は経過しているが、利用率も高く、令和元年度に屋根外壁の改修工事も実施しているため、当面使用は可能と思われる。												

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているため、必要最小限の維持修繕工事を行うことで、当面継続使用が可能と思われる。今後、庁舎の整備方針に応じて、大規模改修や建替え等の検討を行うこととする。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:82千円 内訳 維持修繕費(82千円) 財源:一般財源	計:82千円 内訳 維持修繕費(82千円) 財源:一般財源	計:82千円 内訳 維持修繕費(82千円) 財源:一般財源	計:82千円 内訳 維持修繕費(82千円) 財源:一般財源	計:82千円 内訳 維持修繕費(82千円) 財源:一般財源	合計:410千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁施設 31

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 実験室			財産区分	行政財産			
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			用途地域	第二種住居地域			
その他区域	土地区画整理事業区域							
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	67.87㎡	延床面積	128.02㎡			
構造	鉄筋コンクリート造		階数	2				
竣工年度 (建築年月)	1974年11月		経過年数 R2.4.1現在	46				
利用状況	1階は清掃員の控室、2階は水産関係の実験室として利用している。							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	庁舎の付属施設として必要な施設である。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	シート防水	受変電	－	冷暖房	冷温水方式、エアコン		
	外壁	コンクリート塗装	発電	－	熱源	直吸収冷温水機		
	床	土間モルタル、畳	電灯	一般型	空調	三種		
	壁	モルタル塗り	警報	－	換気	三種		
	天井	吹付	構内交換	－	ポンプ	空調用		
			EV	－	自動制御	中央監視		
			その他	－	給排水	高置水槽		
劣化度調査	壁クラック・白華、天井漏水跡		特に無し		消火ポンプベース発錆			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	2020.3 屋上防水、外壁改修工事							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	109,006	109,006						
	R1							
	H30							
	H29							
	H28							
	H27							
計	109,006	109,006						

(庁舎工事と一体)

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	庁舎に準ずる
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果 (コメント)	1階は清掃員の控室、2階は水産関係の実験室として使用されている。屋上、外壁の修繕工事を2020年に実施しているため、躯体は継続使用が可能な状況であるが、内部については劣化が激しく性能が劣る。今後、庁舎の余剰スペースが生まれる場合は、庁舎棟へ集約が望ましい。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているものの、内装の劣化が著しい。利用者が少なく、面積も小さいことから、今後庁舎に余剰面積ができた際に機能を移設することとして、必要最低限の修繕のみ実施するものとする。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:63千円 内訳 維持修繕費(63千円) 財源:一般財源	計:63千円 内訳 維持修繕費(63千円) 財源:一般財源	計:63千円 内訳 維持修繕費(63千円) 財源:一般財源	計:63千円 内訳 維持修繕費(63千円) 財源:一般財源	計:63千円 内訳 維持修繕費(63千円) 財源:一般財源	合計:315千円

個別施設計画(個票)

県庁・倉庫 32

施設名／棟名	遠野地区合同庁舎(旧館・新館)			財産区分	行政財産			
所在地	遠野市六日町1－22			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画地域内		防火地域	指定なし		用途地域	第二種住居地域	
その他区域								
敷地面積	7,410.8㎡		建築面積	1,000.43㎡		延床面積	3,272.79㎡	
構造	RC			階数	地上4階			
竣工年度 (建築年月)	1966年7月			経過年数 R2.4.1現在	53年			
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60%。 2000年 205人　→2011年 147人　→2012年 152人　→2020年 76人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。 必要に応じて、市町村担当課の執務スペースとして貸し付けるなどの有効活用を検討する。							
主な設備	①建築設備 ・屋根シート防水 ・外壁モルタル塗		②電気設備 ・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター		③機械設備 ・鑄鉄製ボイラー ・パッケージ型エアコン ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・液化石油ガス ・消火設備			
劣化度調査	①建築設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。		②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。		③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。			
定期点検	①建築設備 ・水切りシーリング劣化 ・雨漏り跡 ・駐車場/バレット腐食		②電気設備 ・キュービクル通風孔閉塞		③機械設備 ・ロスナイ故障			
修繕工事履歴	①建築設備 ・屋上防水補修(1987) ・エレベーター設置(1994) ・外壁改修(1996) ・耐震改修(2016)		②電気設備 ・自家発電電機改修(2012) ・照明設備改修(2019) ・電話交換設備更新(2019)		③機械設備 ・給排水等設備設置(1994) ・冷房機器設置(2000) ・ガス系消火設備更新(2018)			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1 H30 H29 H28 H27					39,290			39,290
	135,877		135,877				9,396	9,396
計	135,877		135,877		39,290		9,396	9,396

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	高
見通し	無
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度2				
評価結果 (コメント)	新館旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低いことから新館、旧館の集約・施設余剰スペースの有効活用についての検討や転用・複合化の可能性についての検討も課題である。					

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備ほか 更新工事	・受変電設備 更新工事	・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕 ・自家発電設備更新 工事 ほか	・昇降設備更新工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:14,078千円 内訳 放送設備ほか更新工事 (12,474千円) 維持修繕費 (1,604千円) 財源:一般財源	計:7,709千円 内訳 受変電設備更新工事 (6,105千円) 維持修繕費 (1,604千円) 財源:一般財源	計:9,211千円 内訳 屋根外壁修繕設計 (5,000千円) 空調設備更新設計 (2,607千円) 維持修繕費 (1,604千円) 財源:一般財源	計:178,418千円 内訳 屋根外壁修繕工事 (134,820千円) 受変電設備工事 (968千円) 自家発電設備更新 工事 (6,578千円) 空調設備更新工事 (32,119千円) 維持修繕費 (1,604千円) 昇降機更新工事設計 (2,629千円) 財源:一般財源	計:39,604千円 内訳 昇降設備更新工事 (38,000千円) 維持修繕費 (1,604千円) 財源:一般財源	合計:249,020千円

施設名／棟名	遠野地区合同庁舎(倉庫)			財産区分	行政財産			
所在地	遠野市六日町1－22			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域			
その他区域								
敷地面積	7,410.8㎡		建築面積	715.22㎡		延床面積	1,401.73㎡	
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階				
竣工年度 (建築年月)	1980年3月		経過年数 R2.4.1現在	41				
利用状況	物置として利用されている。							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も物置として利用されることが想定される。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
劣化度調査								
定期点検	雨漏り跡、カビの発生							
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	Ⅲ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理／優先度4
評価結果 （コメント）	長期に亘り公用車等を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	合計：4,065千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁施設 34

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／旧館			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内			用途地域	第一種住居地域			
その他区域								
敷地面積	7,367.25㎡	建築面積	1,020.86㎡	延床面積	3,863.92㎡			
構造	RC		階数	地上4階				
竣工年度 (建築年月)	1978年3月		経過年数 R24.1現在	42				
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。							
主な設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 Co打放+吹付、タイル貼 ビニル床タイル類 Co打放+吹付、壁紙、タイル・石貼、ハーティション 石こうボード、岩綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋外形 屋外ディーゼル 一般形 P形、副受信機、非常放送 電子交換機、VoIP 常用EV 電気時計、拡声、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 給湯 ガス 消火			
劣化度調査	土砂溜まり、発錆、クラック、天井雨漏り跡		特になし		特になし			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1992.12 1995.7 2004.1 2011.1 2013.7	自動扉設置 既存様改修 防水改修 耐震・外壁補修 外構舗装工事	2001 2010.11 2012.3 2014.3 2018.3	電話交換設備更新 給排水改修 自家発電設置 太陽光発電設備設置 電話交換設備更新	1991 1995.7 2010.12 2012.9			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				12,960			12,960
H28	0				0			0
H27	0				0			0
計	0	0	0	0	12,960	0	0	12,960

【優先度評価】												
建物性能	中											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	職員数は当面横ばいの見通し											
2次評価	I											

【総合判定】												
総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度2											
評価結果 (コメント)	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。											

長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋根外壁修繕(工事) ・自火報設備改修(設計)	・自動制御設備改修(設計・工事)	・自家用発電設備OH ・自火報設備改修(工事)	・受変電設備改修(工事) ・太陽光発電改修(設計工)	・電話交換設備停電用蓄電池更新(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:170,397千円 内訳 屋根外壁修繕工事 (167,602千円) 自火報設備改修工事設計 (2,795千円) 維持修繕 (902千円) 財源:一般財源	計:33,089千円 内訳 自動制御設備改修工事 (31,196千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:18,579千円 内訳 自家用発電設備OH (6,225千円) 自火報設備改修工事 (10,464千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:38,363千円 内訳 受変電設備改修工事 (5,914千円) 太陽光発電改修工事 (30,556千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:2,993千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事(1,100千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	合計:263,421千円

施設名／棟名	釜石地区合同庁／新館			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火区域内	用途地域	第一種居住地域							
その他区域												
敷地面積	7,367.25㎡		建築面積	479.91㎡		延床面積	1,663.11㎡					
構造	RC			階数	地上4階							
竣工年度 (建築年月)	1995年8月			経過年数 R2.4.1現在	25							
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。 2000年 217人 →2011年 201人 →2012年 272人 →2020年 263人											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません、既存のままの有効活用は難しい。											
主な設備	建築			電気		機械						
	屋根	シート防水		受変電	屋外形	冷暖房	冷温水(中央)、局所(FF、エアコン)					
	外壁	Co打放+吹付		発電	屋外ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機					
	床	モルタル直均し等、ビニル床タイル類		電灯	一般形	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット					
	壁	壁紙、パーテーション		警報	P形、副受信機	換気	三種					
	天井	岩綿吸音板、金属製		構内交換	電子交換機	ポンプ	空調用ポンプ、オイルポンプ					
			EV	常用EV	自動制御	中央式監視制御						
			その他	電気時計設備、拡声、TV	給排水	加圧送水、公共水道、公共下水道						
					給湯	局所式、ガス、貯湯式電気温水器						
					ガス	都市ガス						
					消火	消火ポンプ						
劣化度調査	土砂溜まり、排水不良、クラック、塗装剥離、雨漏り跡			特になし		特になし						
定期点検	同上			同上		同上						
修繕工事履歴	2013	構内舗装工事										
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	中											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	職員数は当面横ばいの見通し											
2次評価	I											

【総合判定】												
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2											
評価結果 （コメント）	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。											

長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	合計：4,075千円

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／公用車庫A				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県釜石市新町6番50号				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域	第一種住居地域						
その他区域												
敷地面積	7,367.25㎡		建築面積		371㎡	延床面積	371㎡					
構造	S		階数		地上1階							
竣工年度 (建築年月)	1978年3月		経過年数 R2.4.1現在		42							
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。											
主な設備	建築		電気		機械							
劣化度調査	屋根鉄骨部発錆		特になし		特になし							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 （コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	合計：910千円

個別施設計画(個票)

県庁・倉庫№ 37

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／車庫B・倉庫				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県釜石市新町6番50号				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		準防火地域		用途地域		第一種住居地域			
その他区域												
敷地面積	7,367.25㎡		建築面積		336㎡		延床面積		623㎡			
構造	S				階数		地上2階					
竣工年度 (建築年月)	1978年3月				経過年数		R2.4.1現在		42			
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。											
主な設備	建築				電気				機械			
劣化度調査	天井ロックウール落下軒天塗装剥離、手すり発錆、外部階段発錆				特になし				特になし			
定期点検	同上				同上				同上			
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	中											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	職員数は当面横ばいの見通し											
2次評価	I											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	合計:1,525千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎編 38

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域			
その他区域								
敷地面積	9,379.05㎡		建築面積	1,878.38㎡		延床面積	5,196.81㎡	
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度 (建築年月)	1979年3月		経過年数 R2.4.1現在	41				
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。減少傾向にあるが、現在はまだ震災前の規模に戻っていない。 2000年 296人 →2011年 267人 →2012年 326人 →2020年 288人							
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	金属	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷水方式、エアコン		
	外壁	コンクリート打放+吹付	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷水機		
	床	Pタイル	電灯	一般形、省エネ型	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット		
	壁	パネーション	警報		換気	三種、一種		
	天井	岩綿吸音板、吹付類	構内交換		ポンプ	空調、オイル、揚水		
			EV	乗用EV	自動制御	中央監視		
劣化度調査	鉄骨塗装剥離・劣化、外壁浮き(塔屋)、天井材外れ、敷地全体地盤沈下、防水シート剥がれ(機械棟)		非常灯不点灯箇所あり		消火			
					屋内消火栓、不活性ガス、粉末			
定期点検	同上		同上					
修繕工事履歴	1992.3	エレベーター設置他工事	2003	電話交換機設備更新工事	1995.3	冷房機器設置工事		
	2002.11	屋上防水等改修工事	2012.3	非常放送用設備更新工事	2004	空調・美世知設備改修工事		
	2012	クラック補修、舗装補修等(震災被災)	2012.3	自家用発電設備改修工事	2018.2	ガス系消火設備更新工事		
	2015.4	置き屋根塗装改修	2015.3	電話交換機設備更新工事	2018.11	地下タンク内面FRPプライニング工事		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	0			0			
	H30	0			3,834		3,834	
	H29	0			8,046		8,046	
2次評価	H28	0			0		0	
	H27	20,956	20,956		0		0	
	計	20,956	0	20,956	0	3,534	11,880	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオナーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・自動制御設備改修(工事) ・昇降機設備改修(工事)	・電話交換設備停電用蓄電池更新(工事)	・受変電設備改修(工事) ・高圧区分閉器改修(工事) ・自家発電設備(OH)	・自家発電設備用蓄電池更新(工事) ・照明設備改修(工事)	・屋根外壁修繕(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:43,510千円 内訳 自動制御設備改修工事 (11,110千円) 昇降機設備改修工事 (29,854千円) 維持修繕費 (2,546千円)	計:3,371千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事(325千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:13,830千円 内訳 高圧区分閉器改修工事 (968千円) 受変電設備更新工事 (4,091千円) 自家発電設備OH (8,225千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:53,345千円 内訳 自家発電設備用蓄電池更新(463千円) 照明設備改修工事 (50,336千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:9,267千円 内訳 屋根外壁修繕工事 設計 (6,721千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	合計:123,323千円
	財源:一般財源					

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎 倉庫				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番				施設類型	庁舎						
都市計画区域	内	防火地域		準防火地域	用途地域	第二種住居地域						
その他区域												
敷地面積	9,379.05㎡ 建築面積				164.02㎡	延床面積		298.62㎡				
構造	鉄骨造り			階数	2							
竣工年度 (建築年月)	1979年3月			経過年数 R2.4.1現在	41							
利用状況	物置、事務室(労働委員会)として利用している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	現状の利用方法のほか、有効活用は難しい。											
主な仕様・設備	建築				電気			機械				
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板金属 吹付 土間モルタル 石膏ボード 石綿吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形、省エネ型 - - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	- - - - - - - -						
劣化度調査	地盤沈下											
定期点検	同上											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	中											
劣化度診断	A											
利用度	中											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	需要は継続											
2次評価	1											

【総合判定】												
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2											
評価結果 （コメント）	建物周りの地盤沈下が進行している。物置及び労働委員会の事務室としてのニーズはあるが、庁舎に集約などの検討は必要と思われる。											

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	合計：730千円

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域			
その他区域								
敷地面積	9,379.05㎡		建築面積	544.14㎡	延床面積	544.14㎡		
構造	鉄筋コンクリート造		階 数	1				
竣工年度 (建築年月)	1979年3月		経過年数 R2.4.1現在	41				
利用状況	車庫として使用を継続している。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。							
主な仕様・設備	建 築		電 気		機 械			
	屋根	折板金属	変電電	-	冷暖房	-		
	外壁	ALD	発電	-	熱源	-		
	床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調	-		
	壁	-	警報	-	換気	-		
	天井	-	構内交換	-	ポンプ	-		
			EV	-	自動制御	-		
			その他	-	給排水	-		
劣化度調査	すり付け不良		-		バレット発錆、腐食、換気扇不良、ガス消火フルネ管発錆			
	同上		-		同上			
	同上		-		同上			
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】									
建物性能	中								
劣化度診断	A								
利用度	高								
1次評価	修繕・改修								
重要性	必要な施設								
見通し	需要は継続								
2次評価	I								

【総合判定】									
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2								
評価結果 （コメント）	建物、設備ともに劣化が見られ、駐車バレットは毎年修繕を実施している。駐車場としてのニーズは継続するため、引き続き修繕を実施する必要がある。また、更新計画について、検討が必要。								

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバ－ホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：267千円 内訳 維持修繕費（267千円） 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費（267千円） 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費（267千円） 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費（267千円） 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費（267千円） 財源：一般財源	合計：1,335千円

個別施設計画(個票)

黒庁・倉庁№. 41

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎 機械室			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域				
その他区域								
敷地面積	9,379.05㎡		建築面積	149㎡	延床面積	149㎡		
構造	鉄筋コンクリート造		階数	1				
竣工年度 (建築年月)	1979年3月		経過年数 R24.1現在	41				
利用状況	機械室として継続して使用中である。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用								
庁舎機能維持のため、ニーズは継続するものと思われる。								
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷水温水方式、エアコン		
	外壁	コンクリート打放+吹付	発電	-	熱源	直吸収冷水機		
	床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット		
	壁	-	警報	-	換気	三種、一種		
	天井	-	構内交換	-	ポンプ	空調、オイル、揚水		
			EV	-	自動制御	中央監視		
		その他	-	給排水	-			
				給湯	-			
				ガス	-			
				消火	粉末			
劣化度調査	屋上シート防水劣化・剥がれ、外壁塗装剥離 ポーチモルタル剥離		-		-			
定期点検	同上		-		-			
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】												
建物性能	中											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	修繕・改修											
重要性	必要な施設											
見通し	需要は継続											
2次評価	I											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	屋上防水が劣化してきているため、修繕の検討が必要。長寿命化で継続使用する場合には、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	合計:365千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁42

施設名／棟名	岩泉地区合同庁舎 庁舎棟			財産区分	行政財産				
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番3			施設類型	庁舎				
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域		指定なし	用途地域	第二種住居地域			
その他区域									
敷地面積	4,213.64㎡		建築面積	592.32㎡		延床面積	2,414.05㎡		
構造	鉄筋コンクリート造			階数		4			
竣工年度 (建築年月)	1968年3月			経過年数		R24.1現在			52
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの台風災害の復旧対応で増加傾向にあるが、復旧が完了した後については、組織の規模縮小が見込まれる。 2000年 76人 →2011年 57人 →2016年 89人 →2020年 96人								
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	組織規模の縮小及び物置等の整理により、余剰スペースを生み出すことは可能と思われる。								
主な仕様・設備	建築			電気			機械		
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付 Pタイル、モルタル直均し、石張等 塗装、壁紙等 岩綿吸音板、吹付等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ、LED型 自火報P型、非常ベル 電子交換機 兼用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、エアコン 真空式温水発生器 ファンコベクター、パネルヒーター 一種、三種 空調用、オイル用 個別制御 加圧送水 局所式、ガス湯沸器、電気温水器 液化石油 屋内消火栓			
劣化度調査	外構手摺コンクリートクラック、床・壁クラック、Pタイル垂み、パーティション垂み等			-			多目的トイレ故障、受水槽基礎コンクリート鉄筋かぶり不足		
定期点検	同上			同上			同上		
修繕工事履歴	1993.11 1995.12 2000.11 2017.3	自動扉設置 外壁改修 屋上防水改修 耐震、外壁、防水改修	1990.12 1994.3 2015.12 2018.3 2018.3	照明改修 冷房機器設置電気工事 自家用発電設備設置 電話交換設備更新 電話交換設備更新	1992.1 1994.1 2000.9 2000.11 2003.3	油配管改修 ボイラー改修 冷房機器設置 空調設備改修 下水道切替			
	面近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				5,783				
H30	0				10,799				
H29	219,788		219,788		0				
H28	0				32,989				
H27	0				32,989				
計	219,788	0	219,788	0	49,571	0	32,989	16,582	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は増加傾向にあるが、台風災害の復旧が完了した後については、職員数の縮小が見込まれる。
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 (コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後52年経過し内装仕上げの劣化も目立つことから建替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。
長寿命化等対策 の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	→ 自火報設備更新(設計)		→ 自火報設備更新(工事)	→ 空調設備更新(設計)	→ 電話交換設備停電用蓄電池更新(工事)	
	→ 日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計: 1,183千円 内訳 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 1,183千円 内訳 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 7,398千円 内訳 自火報設備更新工事 (6,215千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 2,855千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (1,672千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 23,499千円 内訳 電池交換設備停電用蓄電池更新工事 (825千円) 空調設備更新工事 (21,491千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	合計: 36,118千円

施設名／棟名	岩泉地区合同庁舎 車庫棟			財産区分	行政財産			
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番3			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域 指定なし		用途地域	第二種住居地域			
その他区域								
敷地面積	4,213.64㎡		建築面積	375㎡	延床面積	375㎡		
構 造	鉄骨造		階 数			1		
竣工年度 (建築年月)	1968年3月		経過年数 R2.4.1現在			52		
利用状況	車庫として継続使用している状況である。							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	波板スレート ALC 土間モルタル - -	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 - - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火			
劣化度調査	屋根スレートの劣化、外壁の割れ、クラック		特に無し		特に無し			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】			
建物性能	中		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	修繕・改修		
重要性	必要な施設		
見通し	ニーズは継続		
2次評価	I		

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果 （コメント）	施設の劣化は進行しているが、車庫としてのニーズは継続するものと思われる。敷地内に土木部の車庫などもあることから、集約なども視野に検討が必要と思われる。

長寿命化等対策 の方向性	外装材の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計：184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計：184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計：184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計：184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	合計：920千円

個別施設計画(個票)

県庁・会庁版 44

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	久慈市八日町1ー1			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域			
その他区域								
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	1791.25㎡	延床面積	8147.45㎡			
構造	SRC		階数	地上8階				
竣工年度 (建築年月)	1998年10月1日		経過年数 R2.4.1現在	21				
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。現在減少傾向にあるものの震災前の規模には戻っていない。 2000年 298人 →2011年 243人 →2012年 271人 →2020年 257人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。 必要に応じて、閉庁日に駐車場を開放するなど敷地の有効活用に努めている。							
主な設備	①建築設備 ・屋根シート防水 ・外壁タイル貼		②電気設備 ・変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター		③機械設備 ・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・消火設備			
劣化度調査	①建築設備 未調査		②電気設備 未調査		③機械設備 未調査			
定期点検	①建築設備 ・屋上防水劣化 ・外壁タイル劣化 ・駐車場屋上排水溝詰まり		②電気設備		③機械設備 ・機械室吸収音板結露			
修繕工事履歴	①建築設備		②電気設備		③機械設備			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】				
建物性能	高(新)			
劣化度診断	A			
利用度	高			
1次評価	維持管理			
重要性	高			
見通し	無			
2次評価	1			

【総合判定】				
総合判定／優先度	維持管理	優先度3		
評価結果 (コメント)	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後21年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。			

長寿命化等対策 の方向性	築後22年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備更新(工事) ・電話交換機更新(工事)	・屋上部分修繕(工事) ・自動制御設備更新(工事)	・自家発電設備(OH)	・屋根外壁改修(設計) ・電力中央監視装置更新(工事) ・電灯設備更新(工事) ・自火報更新(工事)	・屋根外壁改修(工事) ・受変電設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:43,603千円 内訳 放送設備更新工事 (19,745千円) 電話交換機設備更新工事 (31,416千円) 維持修繕費 (19,866千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:44,960千円 内訳 屋上防水部分修繕 (9,552千円) 自動制御設備更新工事 (31,416千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:33,582千円 内訳 自家発電設備OH (29,590千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:80,175千円 内訳 屋根外壁設計 (8,536千円) 電力中央監視装置 改修工事 (2,037千円) 電灯設備更新工事 (50,336千円) 自火報設備更新工事 (15,274千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:137,541千円 内訳 屋根外壁工事 (131,512千円) 受変電設備改修工事 (2,037千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	合計:339,861千円

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎(立体駐車場)				財産区分	行政財産						
所在地	久慈市八日町1－1				施設類型	庁舎						
都市計画区域	都市計画地域内				防火地域	準防火地域						
その他区域					用途地域	近隣商業地域						
敷地面積	14,720.69㎡		建築面積		203.61㎡		延床面積	1,112.99㎡				
構造	鉄筋コンクリート造				階数	地上1階						
竣工年度 (建築年月)	1999年10月				経過年数	R2.4.1現在						
利用状況	駐車場として利用されている。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も駐車場として利用されることが想定される。											
主な仕様・設備	建築				電気		機械					
劣化度調査												
定期点検												
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	IV

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	長期に亘り公用車を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策 の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。
-----------------	------------------------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容					屋根・外壁改修工事 ほか	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 内訳 屋根外壁改修工事 (工事費は庁舎に含 む) 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	合計:3,230千円

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎(倉庫)			財産区分	行政財産							
所在地	久慈市八日町1ー1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域							
その他区域												
敷地面積	14,720.69㎡		建築面積	189㎡		延床面積	283.5㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1998年12月		経過年数	R2.4.1現在								
利用状況	物品保管庫として利用されている。											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も物品保管庫として利用されることが想定される。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
劣化度調査												
定期点検												
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	IV

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度3
評価結果 (コメント)	長期に亘り物品を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策 の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。
-----------------	------------------------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容					屋根外壁改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 屋根外壁改修工事 (工事費は庁舎に含む) 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	合計:695千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 47

施設名／棟名	二戸地区合同庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県二戸市石切所字荷渡6番3			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域						
その他区域												
敷地面積	10,115.9㎡		建築面積	2,030.73㎡		延床面積	10,769.89㎡					
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造			階数	9							
竣工年度 (建築年月)	2003年7月			経過年数 R2.4.1現在	17							
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、2013年より空いたスペースに県との業務連携を図る目的で二戸市の行政組織の一部が入居している。 2000年 270人 →2011年 211人 →2013年 253人(二戸市入居) →2020年 252人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、有効活用は難しいが未利用設備等の有効活用が望まれる。											
主な仕様・設備	建築			電気		機械						
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 タイル貼 Pタイル、カーペット類、OAフロア パーテーション等 石膏ボード、石綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内型 ディーゼル 省エネ型 P型 電子交換機 乗用EV 電気時計設備 テレビ共同受信設備等	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、局所冷房方式 直吸収冷温水機、フィンユニット ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 三種、一種 空調、オイル、真空給水等 中央監視 加圧送水方式 中央式、局所式 液化石油ガス 屋内・屋外消火栓、連結送水管、不活性ガス、粉末						
劣化度調査												
定期点検	同上			同上		同上						
修繕工事履歴			2013 2019.9	太陽光発電パワーコンディショナー更新 電話交換設備更新		2013.3	地価タンク貯蔵所外設修繕					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				15,847		15,847		0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	15,847	0	15,847	0	0	0	0	0

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備改修(設計) ・温外発生機断熱タック改修(工事) ・自動制御設備改修(設計)	・自家発電設備(OH)	・放送設備改修(工事)	・高圧区分間開閉器改修(工事) ・自火報設備改修(設計)	・自火報設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:36,570千円 内訳 放送設備改修工事設計 (1,672千円) 温外発生機断熱タック改修 (1,516千円) 自動制御設備改修工事 設計・工事(28,105千円) 維持修繕費(5,277千円) 財源:一般財源	計:10,789千円 内訳 自家発電設備OH (5,512千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:17,113千円 内訳 放送設備改修工事 (11,836千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:8,049千円 内訳 高圧区分間開閉器改修工事 (968千円) 自火報設備改修工事 設計 (1,804千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:20,551千円 内訳 自火報設備改修工事 (15,274千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	合計:93,072千円

【優先度評価】												
建物性能	高											
劣化度診断	A											
利用度	高											
1次評価	維持管理											
重要性	必要な施設											
見通し	職員数は横ばいの見通し											
2次評価	I											

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度 3
評価結果 (コメント)	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後17年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器は少ないが、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

施設名／棟名	知事公舎			財産区分	行政財産							
所在地	盛岡市東中野町80番			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし		用途地域	第一種低層住居専用地域					
その他区域												
敷地面積	16,483.26㎡		建築面積	742.96㎡		延床面積	742.96㎡					
構造	鉄筋コンクリート造			階数	地上1階							
竣工年度 (建築年月)	1971年9月16日			経過年数	R2.4.1現在							
利用状況	R2年度は1戸中0戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	知事は市内居住のためR2年度は空室。(ただし、日中の使用はある。)今後も職員公舎として必要である。											
受変電 発電 警報 構内交換 その他 E V 冷暖房 熱源 給水 排水 給湯 消火	配電盤(屋内形) 自動火災報知設備(P形) 電気融雪(一部軒、樋)、誘導支援装置、赤外線感知設備 冷温水方式、局所暖房方式(FFストーブ等) 鋼製ボイラー(水蓄熱、開放式) 自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	757	757										
H30	717	717										
H29	645	645										
H28	99	99										
H27	138	138										
計	2,355	2,355										

【優先度評価】			
建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定／優先度	維持管理	優先度6	
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容				受変電設備更新工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:4,558千円 内訳 受変電設備更新工事 (4,194千円) 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	維持修繕費 6,014千円 財源:一般財源

公舎No.2

【優先度評価】				
建物性能	高～中			
劣化度診断	A			
利用度	高～中			
1次評価	維持管理			
重要性	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)			
見通し	△15			
2次評価	IV(40点未満)			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.3

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	中～低 B		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見通し	40:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,940千円 財源：一般財源

公舎No.4

【優先度評価】			
建物性能	中～低		
劣化度診断	B		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	40:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	--

[illegible]

公舎No.5

施設名／棟名	西青山合同公舎3号棟	財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域			
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.33㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階
竣工年度 (建築年月)	1965年8月1日	経過年数	R2.4.1現在
延床面積	789.99㎡		
55			
利用状況	R2年度は9戸中5戸入居している。		
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。		
主な設備	受変電 その他 E V 給水 排水 給湯 消火 配電盤(屋内形) 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池) 高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 粉末消火		
劣化度調査	なし		
定期点検	設備点検1回/年 建築物点検1回/3年(前回実施:H30)		
修繕工事履歴	R1盛岡地区西青山合同公舎1～3号棟給湯設備更新工事 R1西青山合同公舎水道メーター更新工事		
直近5年の維持修繕・改修費	計 R1 H30 H29 H28 H27 計	維持修繕 247 134 247 10 144 9,493	改修 247 134 247 10 144 782
	更新	8,711	
	計	維持修繕	改修
	更新	8,711	

【優先度評価】				
建物性能	中～低			
劣化度診断	B			
利用度	高～中			
1次評価	修繕・改修			
重要性	40: 代替施設有(家賃アパート、家賃補助)			
見通し	△15			
2次評価	DV(40点未満)			

【総合判定】						
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度 4				
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行 いながら、施設を維持管理					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.7

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,935千円 財源：一般財源

公舎No.8

施設名／棟名	東中野合同公舎1号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市東中野町31番		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし								
その他区域			用途地域	第一種低層住居専用地域								
敷地面積	7,517.52㎡		建築面積	265.56㎡								
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上3階								
竣工年度 (建築年月)	1967年6月20日		経過年数 R2.4.1現在	53								
利用状況	R2年度は18戸中18戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	受変電	配電盤(屋外形)										
	その他	弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池)										
	E V											
	給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道										
	排水	公共下水道										
	給湯	ガス湯沸器										
	消火	粉末消火										
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施: H30)											
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
		708	246		462							
	H30	517	517									
	H29	454	454									
	H28	44	44									
	H27	183	183									
	計	1,906	1,444		462							

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中 A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見通し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】						
総合判定／優先度	維持管理	優先度6				
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

[illegible]

公舎No.9

施設名／棟名	東中野合同公舎2号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市東中野町31番		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし								
その他区域												
敷地面積	7,517.52㎡	建築面積	265.56㎡	延床面積	796.68㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上3階								
竣工年度 (建築年月)	1967年6月20日		経過年数 R2.4.1現在	53								
利用状況	R2年度は18戸中18戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	受変電	配電盤(屋外形)										
	その他	弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池)										
	E V											
	給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道										
	排水	公共下水道										
	給湯	ガス温沸器										
	消火	粉末消火										
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
		589	127		462							
	H30	144	144									
	H29	93	93									
	H28	125	125									
	H27	87	87									
	計	1,038	576		462							

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見直し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

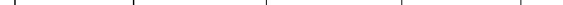
【総合判定】					
総合判定／優先度	維持管理	優先度6			
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.10

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

施設名／棟名		東中野合同公舎4号棟		財産区分		行政財産							
所在地		盛岡市東中野町31番		施設類型		職員公舎							
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		指定なし							
用途地域				第一種低層住居専用地域									
敷地面積		7,517.52㎡		建築面積		265.56㎡							
延床面積						796.68㎡							
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上3階							
竣工年度 (建築年月)		1967年6月20日		経過年数 R2.4.1現在		52							
利用状況		R2年度は18戸中17戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	受変電	配電盤(屋外形)											
	その他	弱電設備: テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池)											
	E V												
	給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道											
	排水	公共下水道											
	給湯	ガス温沸器											
消火	粉末消火												
劣化度調査		なし											
定期点検		設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施: H30)											
修繕工事履歴		R1東中野合同公舎水道メーター更新工事											
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
		866	204		462								
H30		373	373										
H29		73	73										
H28		37	37										
H27		54	54										
計		1,203	741		462								

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見直し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】					
総合判定／優先度	維持管理	優先度6			
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

[illegible]

公舎No.12

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

公舎No.13

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見直し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

[illegible]

公舎No.14

【優先度評価】			
建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(家賃アバート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

[illegible]

個別施設計画(個票)

公舎No.15

施設名／棟名	東中野寮1、2、3号棟			財産区分	行政財産							
所在地	盛岡市東山一丁目414番1			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域							
その他区域												
敷地面積	5,240.88㎡		建築面積	1,194.6㎡		延床面積	3,018.25㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上4階								
竣工年度 (建築年月)	1974年1月9日		経過年数 R2.4.1現在	46								
利用状況	R2年度は101戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備	受変電	配電盤(屋内形)、キュービクル式										
	警報	自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル										
	その他	弱電設備・テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備										
	E V	高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道										
	給水	公共下水道										
	排水	ガス湯沸器										
給湯	屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽											
消火												
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	200	200										
H30	364	364										
H29	96	96										
H28	59	59										
H27	289	289										
計	1,008	1,008										

【優先度評価】			
建物性能	中～低		
劣化度診断	A		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40		
見通し	△20		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定／優先度	用途廃止 優先度4		
評価結果 (コメント)	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。		

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.16

施設名／棟名	東中野寮4号棟			財産区分	行政財産							
所在地	盛岡市東山一丁目414番1			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域							
その他区域												
敷地面積	5,240.88㎡	建築面積		217.57㎡	延床面積	892.66㎡						
構造	鉄筋コンクリート造			階数	地上4階							
竣工年度 (建築年月)	1981年3月26日			経過年数	R2.4.1現在							
39												
利用状況	R2年度は30戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
受変電 警 報 その他 E V 給 水 排 水 給 湯 消 火	配電盤(屋内形)、キュービクル式 自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備 高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	220	220										
H30	158	158										
H29	19	19										
H28	69	69										
H27	133	133										
計	600	600										

【優先度評価】				
建物性能	中～低			
劣化度診断	A			
利用度	低			
1次評価	用途廃止			
重要性	40			
見通し	△20			
2次評価	IV(40点未満)			

【総合判定】				
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。			

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

公舎No.17

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

[illegible]

公舎No.18

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 415千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.19

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 83千円	維持修繕費 415千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No.21

施設名／棟名	高松合同公舎1号棟			財産区分	行政財産							
所在地	盛岡市高松一丁目322番2			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域							
その他区域												
敷地面積	3405.12㎡		建築面積	520.08㎡		延床面積	520.08㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上1階								
竣工年度 (建築年月)	1979年3月30日		経過年数 R2.4.1現在				41					
利用状況	R2年度～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備	警報	自動火災報知設備(P形)										
	構内交換											
	その他	弱電設備・テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯)										
	E V											
	給水	水道直結方式・公共水道										
	排水	公共下水道										
	給湯	ガス湯沸器										
消火	粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	67	67										
H29	27	27										
H28												
H27	95	95										
計	189	189										

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	B											
利用度	低											
1次評価	用途廃止											
重要性	40											
見通し	△20											
2次評価	IV(40点未満)											

【総合判定】							
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4					
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。						

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.22

施設名／棟名	高松合同公舎2号棟			財産区分	行政財産							
所在地	盛岡市高松一丁目322番2			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域							
その他区域												
敷地面積	3405.12㎡		建築面積	451.83㎡		延床面積	903.66㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1979年3月30日		経過年数 R2.4.1現在			41						
利用状況	R2年度～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備	警報	自動火災報知設備(P形)										
	構内交換											
	その他	弱電設備・テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯)										
	E V											
	給水	水道直結方式・公共水道										
	排水	公共下水道										
給湯	ガス湯沸器											
消火	粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	18	18										
H30	98	98										
H29	278	278										
H28	198	198										
H27	164	164										
計	756	756										

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	B											
利用度	低											
1次評価	用途廃止											
重要性	40											
見通し	△20											
2次評価	IV(40点未満)											

【総合判定】							
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4					
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。						

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

公舎No.23

【優先度評価】			
建物性能	高～中		
劣化度診断	B		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容			日常点検に基づく維持修繕			
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,385千円 財源：一般財源

公舎No.24

【優先度評価】				
建物性能	高～中			
劣化度診断	B			
利用度	高～中			
1次評価	維持管理			
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)			
見通し	△15			
2次評価	IV(40点未満)			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,105千円 財源：一般財源

公舎No.25

[illegible]

公舎No.26

【優先度評価】			
建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 3,235千円 財源：一般財源

施設名／棟名		河南公舎1号		財産区分		行政財産							
所在地		盛岡市東中野町80番		施設類型		職員公舎							
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		指定なし							
その他区域				用途地域		第一種低層住居専用地域							
敷地面積		16,483.26㎡		建築面積		93.57㎡							
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上1階							
竣工年度 (建築年月)		1991年8月30日		経過年数 R2.4.1現在		29							
利用状況		R2年度は1戸中0戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		担当秘書が市内居住のためR2年度は空室。 今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	受変電	配電盤(屋内形)											
	その他												
	E V												
	給水	水道直結方式・公共水道											
	排水	公共下水道											
	給湯	ガス温沸器											
	消火	粉末消火											
劣化度調査		なし											
定期点検		設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴													
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
			0										
			H30	0	0								
			H29	0	0								
			H28	0	0								
			H27	0	0								
			計	0	0								

【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見直し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】					
総合判定／優先度	維持管理	優先度6			
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

[illegible]

公舎No. 28

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

[illegible]

公舎No.29

[illegible]

		【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中 A				
利用度	高～中				
1次評価	維持管理				
重要性見出し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15				
2次評価	IV(40点未満)				

【総合判定】					
総合判定／優先度	維持管理	優先度6			
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 3,380千円 財源：一般財源

公舎No.30

【優先度評価】				
建物性能	高～中			
劣化度診断	A			
利用度	高～中			
1次評価	維持管理			
重要性	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)			
見通し	△15			
2次評価	IV(40点未満)			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,000千円 財源：一般財源

公舎No.31

【優先度評価】				
建物性能劣化度診断	高～中 A			
利用度	高～中			
1次評価	維持管理			
重要性見直し	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助) △15			
2次評価	IV(40点未満)			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.32

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
重要件見直し	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△20:多用途使用見込み無				
2次評価	IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 1,215千円 財源：一般財源

公舎No.33

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
車要件見直し	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△20:多用途使用見込み無				
2次評価	IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 1,820千円 財源：一般財源

公舎No.34

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中 A異常無 高～中				
1次評価	維持管理				
車要件見直し	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △20:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 1,430千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.35

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 411千円	維持修繕 411千円	維持修繕 411千円	維持修繕 411千円	維持修繕 411千円	維持修繕 2,055千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No.36

施設名／棟名	南城合同公舎(1号棟)			財産区分	行政財産							
所在地	花巻市南城104			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	2,705㎡	建築面積	246.81㎡	延床面積	740.43㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上3階								
竣工年度 (建築年月)	1974年8月22日		経過年数 R2.4.1現在	46								
利用状況	R2年度は12戸数のうち10戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主 な 設 備	その他 E V 給 水 排 水 給 湯 消 火 弱電設備・テレビ共同受信設備 加圧送水方式・公共水道、タンク類 (FRP製) 公共下水道 局所式・ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	R1 火災警報器更新他 571千円 H30 水栓トイレ修繕他 171千円、フェンス新設工事 1,156千円 H29 浴室、和室壁修繕他 318千円 H28 換気扇修繕他 136千円 H27 風呂釜交換他 541千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	571	571										
H30	1,327	171		1,156								
H29	318	318										
H28	60	60										
H27	541	541										
計	2,817	1,661	0	1,156								

【優先度評価】				
建物性能	中～低			
劣化度診断	A異常無			
利用度	高～中			
1次評価	修繕・改修			
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)			
見通し	△15:多用途使用見込み無			
2次評価	IV(40点未満)			

【総合判定】				
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5		
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 363千円 財源:一般財源	維持修繕 363千円 財源:一般財源	維持修繕 363千円 財源:一般財源	維持修繕 363千円 財源:一般財源	維持修繕 363千円 財源:一般財源	維持修繕 1,815千円

公舎No.37

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断 利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
2次評価	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△20:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 1,840千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No.38

施設名／棟名	大通合同公舎			財産区分	行政財産							
所在地	花巻市大通り1丁目16-30(389)			施設類型	職員公舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域		指定なし		用途地域	第一種住居地域				
その他区域												
敷地面積	389.41㎡		建築面積		252.28㎡		延床面積	394.95㎡				
構造	鉄筋コンクリート造			階数	地上2階							
竣工年度 (建築年月)	1980年2月22日			経過年数	R2.4.1現在		40					
利用状況	H25年～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
その他 E V 給 水 排 水 給 湯 消 火	弱電設備:テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 局所式・ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】							
建物性能	低						
劣化度診断	異常有(経過観察)						
利用度	低						
1次評価	用途廃止						
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、客員補助)						
見直し	△20:使用見込み無						
2次評価	IV(40点未満)						

【総合判定】							
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4					
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。						

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止予定
-----------------	--------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						

公舎No.39

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 A異常無 高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

公舎No.40

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低				
	巨異常有（経過観察）				
1次評価	高～中				
	修繕・改修				
重要性能見直し	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）				
	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 970千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No.41

施設名／棟名		東館合同公舎1号棟		財産区分		行政財産	
所在地		遠野市東館町5-4(68-5)		施設類型		職員公舎	
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		指定なし	
その他区域				用途地域		第一種住居地域	
敷地面積		956.69㎡		建築面積		177.04㎡	
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上3階	
竣工年度 (建築年月)		1966年12月27日		経過年数		R2.4.1現在	
54							
利用状況		H30～入居者なし					
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		用途廃止予定					
その他 主 な 設 備 E V 給 水 排 水 給 湯 消 火		弱電設備・テレビ共同受信設備 高置水槽方式・公共水道、タンク類（FRP製） 公共下水道 ガス湯沸器					
劣化度調査		なし					
定期点検		H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）					
修繕工事履歴		H27トイレ水道詰まり修繕 5千円					
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新		
R1							
H30							
H29							
H28							
H27		5	5				
計		5	0				

【優先度評価】			
建物性能	低		
劣化度診断	異常有(経過観察)		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
必要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△20:使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4	
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。		

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-----------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.42

施設名／棟名		東館合同公舎2号棟				財産区分		行政財産					
所在地		遠野市東館町5-4(68-2)				施設類型		職員公舎					
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		指定なし		用途地域		第一種住居地域			
その他区域													
敷地面積		429.28㎡		建築面積		126.3㎡		延床面積		200.92㎡			
構造		鉄筋コンクリート造				階数		地上2階					
竣工年度 (建築年月)		1966年3月29日				経過年数		R2.4.1現在				54	
利用状況		H27～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		用途廃止予定											
主な設備	その他	弱電設備:テレビ共同受信設備											
	E V												
	給 水	公共水道											
	排 水	公共下水道											
	給 湯	ガス湯沸器											
消 火													
劣化度調査		なし											
定期点検		H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴		なし											
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1													
H30													
H29													
H28													
H27													
計													

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	A異常無											
利用度	低											
1次評価	用途廃止											
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)											
見通し	△20:使用見込み無											
2次評価	IV(40点未満)											

【総合判定】						
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4				
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。					

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-----------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						

公舎No.43

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	低				
	A異常無 高～中				
1次評価	維持管理				
重要性見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

個別施設計画(個票)

公舎No.44

施設名／棟名		六日町合同公舎		財産区分		行政財産							
所在地		遠野市六日町1-16(420-1)		施設類型		職員公舎							
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		指定なし							
その他区域				用途地域		第一種住居地域							
敷地面積		512.82㎡		建築面積		188.15㎡							
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上2階							
竣工年度 (建築年月)		1978年3月1日		経過年数 R2.4.1現在		42							
利用状況		H26～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		用途廃止予定											
主 な 設 備		その他 E V 給 水 排 水 給 湯 消 火 弱電設備:テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器											
劣化度調査		なし											
定期点検		H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴		H28 漏水修理 99千円											
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1													
H30													
H29													
H28		99	99										
H27													
計		99	99										

【優先度評価】												
建物性能	低											
劣化度診断	A異常無											
利用度	低											
1次評価	用途廃止											
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)											
見通し	△20:使用見込み無											
2次評価	IV(40点未満)											

【総合判定】												
総合判定／優先度	用途廃止	優先度4										
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。											

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-----------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						

公舎No.45

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低 目視常有（経過観察） 高～中				
1次評価	修繕・改修				
重要性見出し	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助） △15：多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 222千円	維持修繕 222千円	維持修繕 222千円	維持修繕 222千円	維持修繕 222千円	維持修繕 1,110千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.46

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低 A異常無 高～中				
1次評価	維持管理				
重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

[illegible]

公舎No.47

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中		
	A異常無		
1次評価	高～中		
	維持管理		
車要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 1,075千円 財源：一般財源

公舎No.48

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中		
	A異常無		
1次評価	高～中		
	維持管理		
車要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

[illegible]

公舎No.49

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 900千円 財源：一般財源

公舎No. 50

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 91千円	維持修繕 91千円	維持修繕 91千円	維持修繕 91千円	維持修繕 91千円	維持修繕 455千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.51

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中		
	A異常無低		
1次評価	維持管理		
車要性見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 3,400千円 財源：一般財源

公舎No.52

		【優先度評価】	
建物性能劣化度	高 A異常無 低		
1次評価	維持管理		
車要件見直し	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △20:多用途利用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 1,100千円 財源：一般財源

公舎No.53

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 1,110千円 財源：一般財源

公舎No.54

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 巨異常有（経過観察） 高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見直し	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助） △15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.55

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 巨量常有（経過観察） 高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見出し	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助） △15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 402千円 財源：一般財源	維持修繕 402千円 財源：一般財源	維持修繕 402千円 財源：一般財源	維持修繕 402千円 財源：一般財源	維持修繕 402千円 財源：一般財源	維持修繕 2,010千円 財源：一般財源

公舎No.56

[illegible]

公舎No.57

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 1,115千円 財源：一般財源

公舎No.58

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 巨異常有（経過観察） 高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見出し	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助） △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 670千円 財源：一般財源

公舎No.59

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断	高～中				
	低異常有(経過観察)				
	高～中				
1次評価	利用度	維持管理			
重要作業見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無				
	IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 60

		【優先度評価】			
建物性能劣化度診断 利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
2次評価	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No.61

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中		
	Ｂ異常有（経過観察）		
	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見出し	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 286千円	維持修繕 1,430千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.62

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
重要件見直し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無				
2次評価	IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 530千円	維持修繕 530千円	維持修繕 530千円	維持修繕 530千円	維持修繕 530千円	維持修繕 2,650千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.63~65

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 C 高～中		
1次評価	修繕・改修		
事業性見直し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 66

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低 B異常有(経過観察) 高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 1,440千円 財源：一般財源	維持修繕 1,440千円 財源：一般財源

公舎No.67

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低				
	巨異常有（経過観察）				
1次評価	高～中				
	修繕・改修				
重要要件見出し	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）				
	△15：多用途使用見込み無				
2次評価	IV（40点未満）				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 1,440千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.69

		【優先度評価】			
建物性能劣化度診断利用度	中～低				
	巨額常有（経過観察）				
1次評価	高～中				
	修繕・改修				
車要件見直し	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）				
	△15:多用途使用見込み無				
2次評価	IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 1,375千円 財源：一般財源

公舎No. 70

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低 A異常無 高～中				
1次評価	修繕・改修				
重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

公舎No. 71

		【優先度評価】	
劣化診断 利用度	建物性能 中～低 A異常無 高～中		
1次評価	修繕・改修 45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価	見直し		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

[illegible]

公舎No. 72

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
2次評価	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 1,107千円	維持修繕 1,107千円	維持修繕 1,107千円	維持修繕 1,107千円	維持修繕 1,107千円	維持修繕 5,535千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舍No. 73

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	中～低		
	A異常無 高～中		
1次評価	修繕・改修		
主要性見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

【総合判定】					
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5			
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。				

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 288千円	維持修繕 1,440千円	
概算費用 【充当財源(見込)】	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No.74

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	中～低 A異常無 高～中				
1次評価	修繕・改修				
重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

[illegible]

公舎No.75

		【優先度評価】			
建物性能劣化	耐用年数	高～中			
	診断利用度	A異常無			
1次評価	維持管理	高～中			
	重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無			
2次評価		IV(40点未満)			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

[illegible]

公舎No. 76

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高		
	A異常無		
1次評価	高～中		
	修繕・改修		
2次評価	重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)	
	見出し	△15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)	

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 1,060千円 財源：一般財源

施設名／棟名	緑ヶ丘合同公舎		財産区分	行政財産								
所在地	宮古市緑ヶ丘4-29		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	263.69㎡		建築面積	114.58㎡	延床面積	229.16㎡						
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1973年3月31日		経過年数 R2.4.1現在	47								
利用状況	R2年度は6戸数のうち6戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	その他	弱電設備:テレビ共同受信設備										
	E V											
	冷暖房	局所暖房方式(FFストーブ等)、局所冷暖房方式(エアコン等)										
	熱源	水道直結方式・公共水道										
	給水	公共下水道										
	排水	局所式・ガス湯沸器										
	給湯											
消火												
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	R1 給湯器更新他 1,329千円 H31畳の表替え H28 4号窓鍵および居室照明修理他 112千円 H27 2号室換気扇交換修理 31千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,329			1,329								
H30												
H29												
H28	112	112										
H27	31	31										
計	1,472	143	0	1,329								

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中 A異常無 高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)		
2次評価			

【総合判定】				
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6		
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 78

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 624千円	維持修繕 624千円	維持修繕 624千円	維持修繕 624千円	維持修繕 624千円	維持修繕 3,120千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No. 79

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中 A異常無 高～中				
1次評価	維持管理				
重要件見直し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無 IV(40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 1,485千円 財源：一般財源	維持修繕 1,485千円 財源：一般財源

施設名／棟名		五月町職員公舎		財産区分		行政財産							
所在地		宮古市五月町2-1		施設類型		職員公舎							
都市計画区域		都市計画区域内		防火地域		準防火地域							
用途地域				近隣商業地域									
敷地面積		3765.07㎡		建築面積		662.49㎡							
延床面積				2452㎡									
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上4階							
竣工年度 (建築年月)		1991年3月25日		経過年数 R2.4.1現在		29							
利用状況		R2年度は56戸数のうち56戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	その他	弱電設備・テレビ共同受信設備											
	E V	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類(揚水ポンプ)											
	給 水	公共下水道											
	排 水	局所式・ガス湯沸器											
	給 湯	屋内消火栓											
消 火													
劣化度調査		なし											
定期点検		H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴		R1 ドアクローザー交換他 2,110千円 H30 給水ポンプ修繕他 571千円、H30量の表替え H29 402号台所換気扇修繕他 84千円 H28 401号室台所照明器具修繕他 144千円											
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1		2,110	2,110										
H30		571	571										
H29		84	84										
H28		144	144										
H27													
計		2,909	2,909										

【優先度評価】			
建築物性能	高～中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV（40点未満）		

【総合判定】			
総合判定／優先度	維持管理	優先度6	
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 1,201千円 財源：一般財源	維持修繕 1,201千円 財源：一般財源	維持修繕 1,201千円 財源：一般財源	維持修繕 1,201千円 財源：一般財源	維持修繕 1,201千円 財源：一般財源	維持修繕 6,005千円

公舎No. 81

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
車要件見直し	55:代替施設有(家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無 Ⅲ(50点～40点)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 82

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中 A異常無 高～中		
1次評価	維持管理		
重要性見直し	55:代替施設有(家賃補助) △15:多用途使用見込み無 Ⅲ(50点～40点)		
2次評価			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 330千円 財源：一般財源	維持修繕 330千円 財源：一般財源	維持修繕 330千円 財源：一般財源	維持修繕 330千円 財源：一般財源	維持修繕 330千円 財源：一般財源	維持修繕 1,650千円 財源：一般財源

公舎No. 83

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断利用度	高～中		
	A異常無		
1次評価	高～中		
	維持管理		
主要性見直し	55:代替施設有(家賃補助)		
	△15:多用途使用是込み無		
2次評価	Ⅲ(50点～40点)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 1,110千円 財源：一般財源

公舍No. 84

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 250千円 財源：一般財源	維持修繕 250千円 財源：一般財源	維持修繕 250千円 財源：一般財源	維持修繕 250千円 財源：一般財源	維持修繕 250千円 財源：一般財源	維持修繕 1,250千円 財源：一般財源

公舎No. 85

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	B異常有（経過観察）				
1次評価	高～中				
車要件見直し	維持管理				
	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）				
2次評価	△15:多用途使用見込み無				
	IV (40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 3,275千円 財源：一般財源

公舎No. 86

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 3,235千円 財源：一般財源

公舎No. 87

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
主要性見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無				
2次評価	IV(40点未満)				

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 88

		(優先度評価)			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
	維持管理				
2次評価	重要性見出し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △15:多用途使用見込み無			
		IV(40点未満)			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

[illegible]

公舎No. 89

[illegible]

公舎No. 90

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

[illegible]

公舎No. 91

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 272千円	維持修繕 272千円	維持修繕 272千円	維持修繕 272千円	維持修繕 272千円	維持修繕 1,360千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源

公舎No. 92

		【優先度評価】			
建物性能劣化度診断	高～中				
	A異常無				
利用度	高～中				
1次評価	維持管理				
車要件見直し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)				
	△15:多用途使用見込み無 IV (40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------------------	---

[illegible]

公舎No. 93

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

[illegible]

公舎No. 94

		【優先度評価】			
建物性能劣化診断利用度	高～中				
	A異常無				
1次評価	高～中				
車要件見直し	修繕・改修				
	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助) △20:多用途使用見込み無 IV (40点未満)				
2次評価					

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

公舎No. 95

		【優先度評価】	
建物性能劣化診断	高～中		
	B異常有(経過観察)		
1次評価	高～中		
	維持管理		
重要件見通し	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 4,955千円 財源：一般財源

公舍No. 96

[illegible]

個別施設計画(個票)

公舎No. 97

施設名／棟名		南青山合同公舎		財産区分		行政財産							
所在地		東京都港区南青山2丁目13-66(399)		施設類型		職員公舎							
都市計画区域		都市計画区域内 防火地域		用途地域		第二種住宅地域							
その他区域													
敷地面積		726.75㎡ 建築面積		275.57㎡		延床面積		1150.8㎡					
構造		鉄筋コンクリート造		階数		地上5階		33					
竣工年度 (建築年月)		1987年3月19日		経過年数 R24.1現在									
利用状況		R2年度は20戸のうち19戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用		今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	E V	常用EV1基											
	冷暖房	局所冷暖房方式(エアコン)											
	熱源	加圧送水方式・公共水道、タンク類(FRP製)											
	給水	公共下水道											
	排水	局所式											
	給湯	粉末消火											
	消火	なし											
劣化度調査		なし											
定期点検		H27～R1建築物点検(早急に改修する指図書事項なし)											
修繕工事履歴		R1 トイレ照明器具修繕他 2,838千円 エアコン更新1,155千円 H30 台所水栓修繕他 2,124千円、H30火災警報器更新 H29 101号室エアコン修繕他 2,189千円 H28 204号浴室折れ戸修繕他 1,164千円 H27 101号室トイレ便器交換修繕 2,237千円											
直近5年の維持修繕・改修費		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	3,993	2,838		1,155								
	H30	2,124	2,124										
	H29	2,189	2,189										
	H28	1,164	1,164										
	H27	2,237	2,237										
	計	11,707	10,552		1,155								

【優先度評価】												
建物性能	高～中											
劣化度診断	A異常無											
利用度	高～中											
1次評価	維持管理											
重要性	50:代官施設有(賃貸アパート、家賃補助)											
見通し	△10:多用途使用見込み無											
2次評価	Ⅲ											

【総合判定】												
総合判定／優先度	維持管理	優先度5										
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。											

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容		・屋根外壁改修(設計)	・屋根外壁改修(工事)			
			日常点検に基づく維持修繕			
概算費用 【充当財源(見込)】	計 564千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	計 4,062千円 外壁改修設計 3,498千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	計 51,802千円 外壁改修工事 51,238千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	計 564千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	計 564千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	維持修繕 47,556千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

その他№. 1

施設名／棟名	岩手県防災航空センター			財産区分	行政財産							
所在地	花巻市葛3-183-1			施設類型	庁舎、事務所							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	799.67㎡	建築面積	192.9㎡	延床面積	363.96㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	2								
竣工年度 (建築年月)	1996年7月29日		経過年数 R2.4.1現在	23								
利用状況	防災航空隊員の活動拠点として 365日/年 開庁											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	航空消防防災活動に必要な機器を適宜更新											
主な設備	事務室:執務室 会議室:隊員会議、隊員個人用装備保管 応接室:来客応接 無線機器室:航空、消防無線機材収蔵 機材庫:応援、受援用品保管 指揮車:防災航空隊員が地上隊として活動する場合等に使用											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	なし											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1 H30 H29 H28 H27 計	0	0	0	0								

【優先度評価】	
建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A（日常点検による簡易劣化度判定）
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持管理
重要性	85点（地上での救助、救急、空中消火等消防活動が困難な状況下で航空消防活動を行う拠点として代替できない施設である。）
見通し	△15点（防災航空隊の活動拠点として防災航空センターは今後必要。）
2次評価	1（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 優先度3
評価結果 （コメント）	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：678千円 内訳 シャッター改修工事（500千円） 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	合計：1,390千円

個別施設計画(個票)

その他No. 2

施設名／棟名	総合防災センター/庁舎、事務所			財産区分	行政財産							
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	庁舎、事務所							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	544.01㎡	延床面積	877.92㎡							
構造	鉄筋コンクリート造	階数	2									
竣工年度 (建築年月)	1986年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	34									
利用状況	来館者数 8,825人(令和元年度)											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	地震体験室の起震装置の更新(東日本大震災の揺れを再現するプログラムの追加)や、利用者に配慮した施設改修を実施している。											
主な設備	防災展示室:パネル展示、体験コーナー等 地震体験室:震度4～7程度の地震を疑似体験できる 視聴覚教室:視聴覚機器(防災映画、防災ビデオ等)による教育を行う。 救命救急コーナー:救命救命対応の演技により心肺蘇生法の訓練を行う。 防災シアター:100インチマルチプロジェクションにより防災学習を行う 防災指導車:県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として整備。											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 1.屋根:経年劣化で退色が見られる。2.外壁・丸柱:壁タイルに浮き、亀裂有り。3.軒天:アルミパネルに白錆有り。4.1階東側:サッシのシーリングが破断している。5.1階事務室:風を伴う降雨時に雨水の侵入有り。6.玄関ホール、1階展示室:排煙窓オペレーターが作動不良。											
修繕工事履歴	平成26年11月:(煙体験装置)発煙用機器が老朽化で不作動の為、更新した。工事費:658,800円 平成27年3月:(トイレ改修)1、2階トイレの洋式化。工事費:2,494,000円 平成28年3月:(2階視聴覚室空調設備改修)2階視聴覚室の空調設備の撤去及び新設。工事費:1,998,000円 平成29年3月:(地震体験ローラー制作・交換)地震体験室において、揺れを発生させる部品が経年劣化による摩耗のため、制作、交換を行った。工事費:1,209,600円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	604	404		200								
R1	525	525		342								
H30	375	33										
H29	213	213										
H28	677	677		542								
H27	2,393	1,851										
計												

【優先度評価】												
建物性能	建物性能⇒中～低											
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)											
利用度	利用状況⇒高～中											
1次評価	修繕・改修											
重要性	80点(地震体験室や、煙体験室等、県民への防災知識・技術の普及及び防災意識を高める施設として代替できない施設である。)											
見通し	△15点(施設は展示品や暗間体験室等、流動的な使用が難しい。)											
2次評価	I(60点以上)											

【総合判定】												
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3											
評価結果 (コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。											

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:2,230千円 内訳 建築修繕(1,500千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	合計:6,550千円

個別施設計画(個票)

その他№. 3

施設名／棟名	総合防災センター／備蓄倉庫			財産区分	行政財産							
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	備蓄倉庫							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域指定なし		用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	200㎡	延床面積	218.75㎡							
構造	鋼鉄造	階数	1									
竣工年度 (建築年月)	1986年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	34									
利用状況	災害用の資機材を保管している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用												
主な設備												
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 外部鉄骨梁に発錆、外壁断熱鋼製パネル腐食、屋外照明器具腐食											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	なし											
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】	
建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持・管理
重要性	65点(災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。)
見通し	△15点(災害時に必要とされる資器材を保管するという施設の特性上、多目的利用、余剰スペースの活用等は難しい。)
2次評価	Ⅱ(60～50点)

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度4
評価結果 (コメント)	災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。現在 は大きな修繕を必要とする箇所はないが、計画的に修繕を行い施設の機能を維持していく必要がある、

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後 年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:227千円 内訳 外部電灯設備修繕 (100千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:1,627千円 内訳 外部シャッター修繕 (1,500千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	合計:2,235千円

個別施設計画（個票）							その他№. 4	
施設名／棟名	岩手県消防学校/校舎本館				財産区分	行政財産		
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号				施設類型	校舎		
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし		
その他区域								
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	427.7㎡		延床面積	1,325.14㎡	
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ銅板葺		階数	3階				
竣工年度 (建築年月)	1974.3.26		経過年数 R24.1現在	46年				
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。							
主な設備	【建物】 ・校長室 ・図書室 ・事務室 ・講師控室 ・第一教室 ・第二教室 ・講堂 ・会議室 ・理化学実験室 ・教材展示室			【電気設備】 ・受変電設備 ・自家発電設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備		
劣化度調査 (平成30年1月)	・屋上防水については築後改修歴ないため、塗膜防水の予防保全が必要 ・外壁は、クラックや塗装剥離の浮きがあることから予防保全工事が必要 ・屋外階段はコンクリート基礎の劣化により早急な修繕が必要 ・外部建具については、排煙設備の基準に違反しているほか玄関ドア等の経年劣化 ・外構囲障では、ネットフェンスの劣化、穴あきが目立ち、基礎天端モルタルの脱落等早急な修繕が必要 ・照明器具は、更新時期を過ぎたままとなっている。その他スイッチ、コンセント等は建設時のままで経年劣化がみられることから早期の更新が必要 ・分電盤も建設時のままで経年劣化がみられ、早期の更新が必要 ・給水設備の高架水槽は昭和46年製、耐震安全性考慮すると早急な更新が必要 ・配管類については、耐震対策が確認できない。給水管や暖房については改修が行われているが、PS内に既存配管がそのままの状態であり、撤去が望ましい。 ・空調、暖房設備等は計画的な更新が必要。排水設備については配管全般に腐食が確認でき、今後、早期の更新が望ましい。							
	○劣化度調査の総合所見では、救急棟を除く施設の劣化度はほぼ同程度であるが、長寿命化改修に当たっては、5年以内の対応を要するとされた。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)			○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		
修繕工事履歴	H27 校舎玄関天井雨漏り修繕 H30 校舎本館外部階段塗装(1,998千円) H30 校舎玄関ドア改修(249千円)			H28 高圧区分開閉器交換 H29 キュービクル真空遮断器交換等		H30 消火栓用水道メーター交換		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1								
H30	2,247	2,247						
H29					1,296	1,296		
H28					531	531		
H27	199	199						
計	2,446	2,446			1,821	1,821		
						330	330	
						330	330	

【優先度評価】				
建物性能	中			
劣化度診断	A 簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要			
利用度	高 利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。			
1次評価	修繕・改修			
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。			
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。			
2次評価	I（60点以上）			

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化のほか、校舎本館の耐震補強工事も未対応(保留のまま)であり、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修工事や非常用自家発電設備など、災害対応に係る部分は早急に整備する。 なお、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容			受電設備更新	視聴覚・校内放送	照明設備改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
	計：769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計：769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計：6,269千円 内訳 受電設備更新工事 (5,500千円) 維持修繕(769千円)	計：6,057千円 内訳 視聴覚・校内放送 改修工事 (5,288千円) 維持修繕(769千円)	計：11,424千円 内訳 照明設備改修工事 (10,655千円) 維持修繕(769千円)	合計：25,288千円
概算費用 【充当財源(見込)】	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	

個別施設計画(個票)

その他No. 6

施設名／棟名	岩手県消防学校／寄宿舎				財産区分		行政財産					
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号				施設類型		寄宿舎					
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域		指定なし		用途地域		指定なし			
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積		922.52㎡		延床面積		1,515.64㎡			
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺				階数		2階					
竣工年度 (建築年月)	1974.3.26				経過年数 R2.4.1現在		46年					
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・寮室 8人×14室 ・食堂 ・談話室 ・寮直室 ・舎監室 ・男子用浴室 ・女子用化粧室(トイレ・浴室)				【電気設備】 ・拡声(校内放送)設備			【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備				
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。鉄板屋根は令和4年を目途に予防保全の塗り替えが望ましい。キャンボニー屋根は改修歴がないことから、屋根塗装と同時期に塗膜防水の予防保全が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装膜の浮き膨らみがあり、3～5年後を目途に予防保全工事が望まれる。 ・外部建具は排煙設備の基準に違反している。鋼製建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。				・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要			・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・各種設備において、大きな問題はないが、今後、計画的に更新することが望ましい。				
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)				○毎年実施(委託事業)			○毎年実施(委託事業)				
修繕工事履歴								H27 寮舎浴槽用循環ろ過装置修繕				
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27									281	281		
計									281	281		

【優先度評価】													
建物性能		A判定 概ね良好											
劣化度診断		簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要											
利用度		利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。											
1次評価		修繕・改修											
重要性		当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。											
見通し		教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。											
2次評価		I（60点以上）											

【総合判定】													
総合判定／優先度		修繕・改修 優先度3											
評価結果 （コメント）		施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。											

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	合計：4,395千円

施設名／棟名	岩手県消防学校／車庫				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県紫波郡矢野町医大通二丁目2番2号				施設類型	車庫						
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域		指定なし		用途地域	指定なし				
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡建築面積				240㎡	延床面積		240㎡				
構造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺			階数	1階							
竣工年度 (建築年月)	1974.3.26			経過年数 R24.1現在	46年							
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】			【電気設備】			【機械設備】					
劣化度調査	なし			なし			なし					
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)			○毎年実施(委託事業)			○毎年実施(委託事業)					
修繕工事履歴	なし			なし			なし					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】	
建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	1（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円）	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円）	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円）	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円）	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円）	合計：695千円
	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	財源：一般財源	

施設名／棟名	岩手県消防学校/教材車両格納庫			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	車庫			
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし			
その他区域								
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	220.42㎡		延床面積	220.42㎡	
構造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	1階				
竣工年度 (建築年月)	1979.12.5		経過年数 R2.4.1現在	40年				
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。							
主な設備	【建物】		【電気設備】		【機械設備】 ・給水設備			
劣化度調査	なし		なし		なし			
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)			
修繕工事履歴	なし		なし		なし			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1								
H30								
H29								
H28								
H27								
計								

【優先度評価】			
建物性能	A判定 概ね良好		
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要		
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。		
1次評価	修繕・改修		
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。		
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。		
2次評価	I（60点以上）		

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

寿命化等対策の方向	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源：一般財源	計：128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源：一般財源	計：128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源：一般財源	計：128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源：一般財源	計：128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源：一般財源	合計：640千円

個別施設計画（個票）

その他No. 9

施設名／棟名	岩手県消防学校/救急訓練棟（接続廊下舎）				財産区分	行政財産						
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号				施設類型	校舎						
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域		指定なし		用途地域	指定なし				
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡ 建築面積				307.24㎡		延床面積		520.6㎡			
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺			階数	2階							
竣工年度 （建築年月）	1993.3.29			経過年数 R2.4.1現在	27年							
利用状況	○ 教育訓練実施状況（令和元年度） 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・講義室 ・講師控室 ・実習室 ・高規格救急車実習室			【電気設備】 ・拡声（校内放送）設備			【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・暖房・空調・換気設備					
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られないが、今後10年程度内に予防保全としてウレタン保護防水層設置工事を実施することが望ましい。 ・外壁はクラックや塗装剥離の浮きが少数見られ、今後10年程度内に予防保全工事を実施することが望ましい。 ・内部建具は経年による損傷や塗装の剥がれが目立つ。 ・内部仕上げ材は経年による汚れやクラック、剥がれが目立つ。			・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要			・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・空調設備、暖房設備等については、今後計画的な更新が望ましい。					
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）			○毎年実施（委託事業）			○毎年実施（委託事業）					
修繕工事履歴	なし			なし			なし					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】												
建物性能	A判定 概ね良好											
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要											
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。											
1次評価	修繕・改修											
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。											
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。											
2次評価	I（60点以上）											

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	合計：1,510千円

施設名／棟名	岩手県消防学校/主訓練塔			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟			
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし			
その他区域								
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	198.12㎡	延床面積	719.66㎡		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根		階数	8階				
竣工年度 (建築年月)	1997.3.24		経過年数 R2.4.1現在	22年				
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名							
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。							
主な設備	【建物】 ・訓練用器具庫 ・バルコニー		【電気設備】 ・拡声設備 ・人荷用エレベータ ・防災設備(雷保護設備)		【機械設備】 ・給水設備			
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に府大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備(雷保護設備)は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。		・事後保全対象でよいと思われる。			
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)			
修繕工事履歴	H28 主訓練塔外周部階段対策 H29 主訓練塔建物外壁及び外部階段補修		H30 主訓及び補助訓非常照明電池交換(1,186千円) H30 笠木ステンレスカバー製作取付(6,028千円) R2 主訓練塔エレベーター制動盤電機修繕(15,708千円) R2 主訓練塔等遊歩計修繕(396千円)					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1 H30 H29 H28 H27	2,484	2,484			1,791	1,791		
	329	329						
計	2,813	2,813			1,791	1,791		

【優先度評価】	
建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	エレベータ改修工事		非常用照明改修工事			
	雷電設備改修工事					
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計:16,521千円 内訳 エレベータ改修工事 （15,708千円） 雷電設備改修工事 （813千円） 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計:4,628千円 内訳 非常用照明改修工事 （4,211千円） 維持修繕 （417千円） 財源：一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	合計:22,401千円

個別施設計画（個票）

その他№. 11

施設名／棟名	岩手県消防学校/補助訓練塔			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42577.66㎡ 建築面積		96.64㎡	延床面積	308.24㎡
構造	鉄筋コンクリート造 陸屋根		階 数	5階	
竣工年度 (建築年月)	1997.3.24		経過年数 R2.4.1現在	23年	
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				
主な設備	【建物】		【電気設備】 ・拡声設備		【機械設備】 ・給水設備
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備(雷保護設備)は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の外観上の更新が必要。		・事後保全対象でよいと思われる。
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)
修繕工事履歴	H28 補助訓練棟バルコニー補修				
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計 維持修繕 改修 更新
R1					
H30					
H29					
H28	1,026	1,026			
H27					
計	1,026	1,026			

【優先度評価】					
建物性能	A判定 概ね良好				
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要				
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。				
1次評価	修繕・改修				
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。				
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。				
2次評価	I（60点以上）				

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思考される。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	雷害設備改修工事		非常用照明改修工事			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：179千円 内訳 雷害設備改修工事 （396千円） ※主訓練塔工事で計上 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：979千円 内訳 非常用照明改修工事 （800千円） 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	合計：1,695千円

個別施設計画(個票)										その他№.12			
施設名／棟名		岩手県職員共済会館 エスポワールいわて				財産区分		普通財産					
所在地		岩手県盛岡市中央通一丁目20番1				施設類型							
都市計画区域		区域内		防火地域 準防火地域、防火地域		用途地域		商業地域					
その他区域													
敷地面積		2,094.37㎡		建築面積		1,430.21㎡		延床面積		6,556.33㎡			
構造		鉄骨鉄筋コンクリート				階 数		8階地下1階					
竣工年度 (建築年月)		H5.9		経過年数 R24.1現在						26			
利用状況		岩手県が、岩手県職員共済会館(昭和44年10月開設の施設内容等に対する組合員のニーズの変化や施設の老朽化(築後20年経過)、また、県庁から離れている(1.5K㎡)等の立地条件への問題に対応するため、宿泊や宴会のみならず、気軽にストレスの発散や基礎体力づくり等ができる保健・運動機能、趣味の取得や教養の向上等のための調査開設等が可能な多機能を持った施設として、県庁から近距離の場所を地に、地方職員共済組合の投資不動産資金により平成5年10月に新築(移転建替入)したものである。平成21年1月に地方職員共済組合岩手県支部から岩手県に譲渡譲渡され、県所有の宿泊施設となり、これまでどのような施設として、地方職員共済組合岩手県支部に経営委託している。 直近3か年の利用状況は、年間延べ94,000～95,000人程度の利用者数があり、1日当たり約260人の利用客がある。令和元年で見ると、宿泊利用率が約47％、宴会会利用率が約46％となっている。会議室利用や議会対応時等の宿泊利用など、組合員(県職員)の利用は安定的な利用がある。また、喫煙所施設としての位置づけもある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用		平成23年3月の東日本大震災津波震災に伴い、国等防災関係機関の連絡員の常駐施設になるなど、災害対策本部等を設置する代替施設の役割を担っている。 また、近年、頻繁に発生している災害等に伴い、避難指示(緊急)又は避難勧告が発令された地域における被災者の受入施設としての支援も行っている。											
主な設備		【建築設備】 昇降機設備(EV設備) 防災設備(防火シャッター、防火扉)				【電気設備等】 受変電設備(高圧、低圧) 自家発電設備 電灯設備、電熱設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備、拡声設備、誘導支援装置 監視カメラ設備、テレビ共同受信設備、映像・音響装置				【空調調和・換気設備、給排水・衛生設備】 冷暖房設備(冷暖水機、給湯機(内)、冷暖房配管、冷却塔) 空調設備(空調機)、換気設備(排気扇) ポンプ設備(空調用、ボイラー給水用、オイル用、補給水用) タンク設備 給水設備(受水機、高置水機、揚水ポンプ、給水配管) 排水設備(排水配管) ガス設備(都市ガス配管) 消火設備(消火栓、連絡送水機、スプリンクラー、ハロン消火) 衛生設備(バス・トイレほか) 厨房設備			
		劣化度調査		H25年度特殊建築物調査報告で指導を受け、 H27.9外壁タイル劣化調査を行った。外壁タイルの浮き部分や亀裂部分があり、落下の恐れがある。									
定期点検		①EV昇降路の壁六区画に用いる防火設備の遮断性能(既存不適合) ②防火シャッターの危険防止機構の不設置(既存不適合) ③外壁タイルの全面打診調査・改修(EV設備、既存不適合) ④駆動装置等、昇降路内及びビル内の耐震対策の施工(1～3号機) ⑤戸開走行保護装置の取付(1～3号機) ⑥主索又は鎖及び関連機ロフの取付、釣合オモリ各部改修(1～3号機) ⑦地震時管制運転装置の取付(3号機) ⑧施錠装置(点検ロスタイプ)の施工(3号機)				①高圧引込柱の区分開閉器(1993年製)が更新推奨年10年以上経過 ②受変電設備の機器が更新推奨時期15年以上又は20年以上経過 ③非常用照明(バッテリー)の確認 ④キュービクル低圧非常動力盤の電源切替器不具合				①スプリンクラー設備のバルブ等漏水 ②煙感知器7個の不動作有り ③防排煙垂れ壁作動不良、シャッター作動不良有り ④誘導灯予備電池不良12個、器具不良1台			
		修繕工事履歴		①特別ホール改修 ②シャッター・クロス張替 ③レストラン改装 ④和宴会室バリアフリー化 ⑤談話室・居酒屋の一体化 ⑥玄関前点字ブロック設置 ⑦地下駐車場改修				①非常灯バッテリー交換(7.8階) ②地デジ放送器設置 ③館内照明LED化 ④監視カメラ修繕(7階) ⑤無線LAN設置				①冷水機発生機取替 ②障害者、客室、共用トイレウォシュレット化 ③厨房機器更新、空調設備設置 ④中央監視装置設備改修 ⑤浴室タイル張替等 ⑥ハロン貯蔵容器更新	
直近5年の維持修繕・改修費													
		計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1													
H30		10,239		5,400	4,839	1,001		1,001		2,970			2,970
H29		5,699	5,699			30,482		30,482		35,726			35,726
H28		24,333		24,333									
H27										9,720		9,720	
計		40,271	5,699	29,733	4,839	31,483	0	31,483	0	48,416	0	9,720	38,696

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理／優先度 3
評価結果 (コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。 また、岩手県災害時業務継続計画、災害対策本部及び災害対策本部支援室を設置する代替施設に位置付けられている。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む。)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む。)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	ハロン貯蔵容器更新設計監理	空調計装ユニット更新設計監理	自火報設備更新設計監理	給湯設備更新工事監理	入ホール機等張替工事	
	ハロン貯蔵容器更新工事	空調計装ユニット更新工事	自火報設備更新工事	給湯設備更新工事	放送設備等更新工事監理	
	照明制御装置等設計監理	南側屋上防水改修工事	特別ホールクロス等改修工事	厨房機器各種更新等工事	放送設備等更新工事	
	照明制御装置等更新工事			放送設備等更新工事設計	厨房洗浄設備更新工事監理	
	共用トイレ等改修工事	非常灯バッテリー交換工事		厨房洗浄設備更新工事設計	厨房洗浄設備更新工事	
概算費用 【充当財源(見込) (千円)						日常点検に基づく維持修繕
概算費用 【充当財源(見込) (千円)	計：33,378千円 内訳 設計監理(4,004) 更新工事(26,580) 改修工事(2,794)	計：28,599千円 内訳 設計監理(2,142) 更新工事(24,181) 改修工事(2,277)	計：24,177千円 内訳 設計監理(6,281) 更新工事(11,418) 改修工事(6,478)	計：23,526千円 内訳 設計監理(2,640) 更新工事(20,886)	計：18,249千円 内訳 設計監理(1,694) 更新工事(16,555)	合計：127,929千円
	財源：一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源：一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源：一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源：一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源：一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	(地共済計) 16,065千円 総計：143,994千円

【優先度評価】		
建物性能	機能異常有(経過観察、要調査)、管理状態良	機能異常無、管理状態良
劣化度診断	簡易劣化度調査結果：A	
利用度	年間延べ利用者約94,000人～95,000人(直近3か年)、1日当たり利用者数約260人、宿泊利用率約47%(R元)、宴会会利用率約46%(R元)	
1次評価	該当：維持管理(建物性能⇒高～中、利用状況⇒高～中)	
重要性	地公法上の職員の福利厚生施設に位置づけられており、職員(組合員)の福祉充実や健康増進等に必要な施設である。	
見通し	利用者は、横ばい傾向と考えられるが、県としての職員及び住民への施設サービスの提供は、今後も必要と考える。	
2次評価	I (60点以上)	

